

2021年度 事業報告書

2021（令和3）年4月1日

～

2022（令和4）年3月31日

公益社団法人 札幌聴覚障害者協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-358

札幌市視聴覚障がい者情報センター内

TEL : 011-642-8010 ・ FAX : 011-642-8377

メール : houjinjimukyoku@sadeaf.jp

【2021年度事業実施報告】

(法人の目的と事業活動)

当法人は、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深め、その社会参加を促進するため、聴覚障害者の福祉の増進に関する事業を行ない、もって社会福祉の発展に寄与することを目的とし、定款に掲げる次の事業を実施しました。

- (1) 聴覚障害者の福祉向上に関する事業
- (2) 聴覚障害者の生活相談及び生活支援に関する事業
- (3) 聴覚障害者の社会啓発運動に関する事業
- (4) 聴覚障害者の広報・啓発に関する事業
- (5) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業
- (6) 聴覚障害者の文化教養・スポーツに関する事業
- (7) 手話通訳者養成事業
- (8) 手話通訳者派遣事業
- (9) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業
- (10) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センター事業
- (11) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく移動支援事業
- (12) 介護保険法に基づく居宅介護サービス事業及び介護予防サービス事業
- (13) 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業
- (14) 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業
- (15) サービス付き高齢者向け住宅事業
- (16) 聴覚障害者の厚生福利及び相互親睦に関する事業
- (17) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(事業面の特徴的なこと)

1. 全事業所でコロナ禍による感染防止の徹底を図りました。一時的休止、時短対応、オンライン対応など各事業所職員の努力、利用者、市民の協力もあり、おおむね事業は実施できました。
2. 全事業で職員の確保、資質向上、待遇面の改善、利用者の確保は、引き続き課題です。人材確保は事業説明会を開催し確保を図っています。資質向上は研修会の開催、研修会への参加派遣などを通じて向上を図っています。待遇面は必要に応じて見直しを図るよう努力しています。安定

運営のための利用者確保も各事業所で努力をしています。また、聴覚障がい者支援センターほほえみ後援会による支援も事業運営の支えになっています。

3. 聴覚障がい児童分野の事業は、市内にある既存の聴覚障がい児・生徒を対象とする事業所との連携を必要に応じて図っていきます。
4. コロナ禍は3年目に入り、ワクチン接種も3回目を迎えていますが終息に至っていない状況です。コロナ禍の減収を乗り切るために借り入れた資金の返済は順調に行っています。
5. 会議や研修などは、感染防止策を図りながら対面とオンラインによる使い分けが普及してきました。感染症対策や遠距離、交通不便な場合にもオンラインは有効な方法ですが、情報通信機器の所持の有無、通信の乱れ、使い方習熟の課題もあり、一日も早いコロナ終息が全事業の安定と継続の大前提です。
6. 詳細な報告は、各事業の報告に委ねます。

(運動面の特徴的なこと)

情報通信機器（スマホ、パソコンなど）の普及、携帯化で情報が簡単に入手できるようになっています。それぞれの運動をホームページで確認し、活動や学習に活用していきましょう。

1. 一般財団法人全日本ろうあ連盟 <https://www.jfd.or.jp/>
 - ① 新型コロナウイルス危機管理対策、旧優生保護法に関する取り組み、宿泊施設への合理的配慮など私たちの社会的課題への取り組みが掲載されています。
 - ② 「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法」（電話リレーサービス）の実現までの経過も掲載されています。
 - ③ 「障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律案が参議院厚生労働委員会で4月12日全会一致可決、衆議院に付託されます。
2. 公益社団法人北海道ろうあ連盟
<https://www.normanet.ne.jp/~h-f-deaf/>
 - ① 手話言語条例制定自治体の広がり、主催行事・研修会等の開催状況、書籍の出版案内などが掲載されています。
3. 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 <http://sapporo-deaf.jp/>
 - ① 交流、学ぶ、働く、手話通訳、暮らす、知る の各分野に関する情報が掲載されています。

【公益目的事業】

【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業

I 手話通訳者の派遣・認定・研修

手話の普及並びに手話通訳者の認定・登録・更新と、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者と聞こえる人の円滑なコミュニケーションを目的とし、依頼に応じて手話通訳者を派遣した。

1. 手話通訳者派遣事業の実施（札幌市委託事業）

ろう者等と聞こえる人との意思の疎通を円滑にするため、手話通訳者を必要とする場合に派遣した。

期 間：2021年4月～2022年3月（年間）

場 所：原則として札幌市内

受 付：手話通訳者派遣室

（1）派遣事業の実績及び近況報告 5,151件+2,041件 = 総件数 7,192件

年度	2020年度 3,930件					2021年度 4,577件						
	区分	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	取り 消し
計			専通	登通	計			専通	登通			
医療・保健	3,156	2,846	1,188	1,658	3431:11	4,026	3,409	1,548	1,861	4123:33	387	318
(内、介護保険)	486	450	208	242	414:57	445	383	207	176	344:02	30	36
司法	94	88	79	9	96:50	60	55	49	6	67:20	8	2
教育・保育	89	81	36	45	87:45	124	109	42	67	126:10	19	4
労働・雇用	81	73	38	35	82:30	81	62	33	29	75:15	17	17
地域・住宅	46	44	17	27	38:43	36	38	11	27	41:15	4	2
人間関係	13	9	3	6	16:00	19	17	5	12	32:40	4	2
文化・教養	48	31	7	24	90:35	57	68	37	31	175:25	29	21
社会生活	338	310	172	138	396:30	320	300	177	123	414:10	50	37
その他	371	448	448	0	222:00	428	519	517	2	277:05	6	0
(来所者)	341	341	341			383	383	383				
(電話通訳)	416	416	416			410	410	410				
(TV電話)	114	114	114			174	174	174				
(FAX対応他)	205	205	205			236	236	236				
合 計	4,236	3,930	1,988	1,942	4462:04	5,151	4,577	2,419	2,158	5332:53	524	403

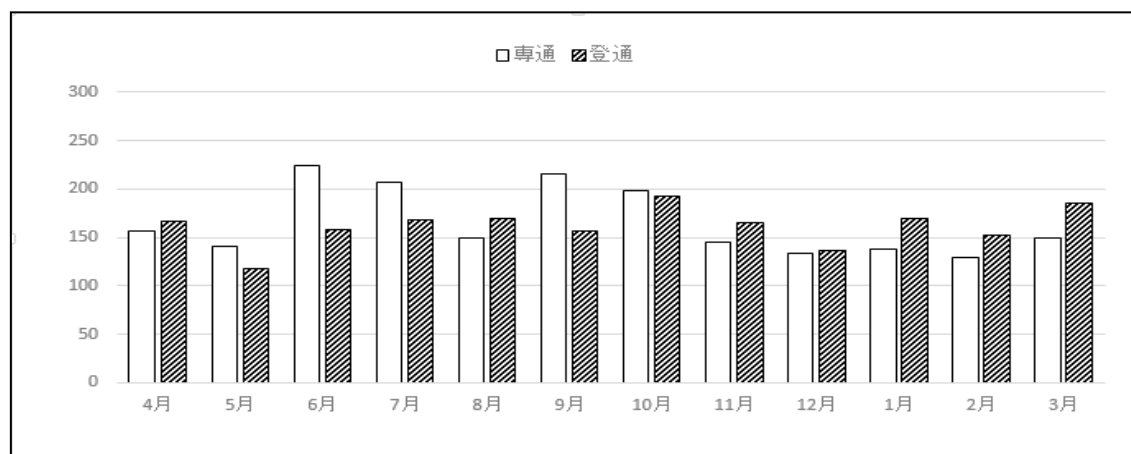
※介護保険の内容：認定調査・ケアマネジャーモニタリング・訪問看護
往診・担当者会議 他

※「その他」は来所対応が15分を超えた時には、依頼件数に含めている。それ以外は下記の通り。

※別表参照

区分	来所者	電話通訳	TV電話	FAX対応他	合計
2020年度	568	103	703	739	2203
2021年度	432	212	912	485	2041

(2) 毎月の派遣件数の比較（専従手話通訳者&登録手話通訳者）



(3) 札幌市手話通訳者状況報告（2022年3月31日現在）

専従手話通訳者 10名 登録手話通訳者 53名

※資格取得状況（専通・登通含む）

手話通訳士 32名 統一試験（手話通訳者）50名

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

(1) 『札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱』は、公印押印事務の簡素化を目的として一部改正（2021年10月1日付）となり、2022年度より報告書も押印不要として実施する予定である。

(2) 全国に新型コロナウイルス感染症は変異株の拡大へとなり、感染症対策の有効な方法として、手話通訳者派遣事業は、対面方式に加えて遠隔手話通訳方式の導入が実施されてきたが、事業の周知が充分でなく、対象者に対して「遠隔手話通訳方式普及のための講座を企画（市内2ヶ所）する中、タブレット端末を使用する体験する場を設け意見をいただき市へ報告した。

参考厚生労働省「遠隔手話サービス等を利用した聴覚障害者の意思疎通支援体制の強化事業」

(3) コロナ禍に於ける感染症対策として、コロナワクチン接種の実施が開始となったが申込方法にFAXがなかった。保健所へ当協会としても受付について改善を求めて「要望書」を提出したが、ろう者に対する合理的配慮としては一部の改善に留まり、派遣室としては、随時保健所担当者と調整しつつ、接種時の通訳派遣も対応した。全体派遣数は326件となった。接種回数は1～2回までは高齢ろう者も不安も多かったようであり、

依頼も集中する時期もあった。現在3回目の接種については、依頼の集中も少なく落ち着いてきている様子である。医療分野の派遣は、専従手話通訳者中心となり、登録手話通訳者の中の医療通訳経験を加味して派遣している。

- (4) 手話通訳者が稼働することへの不安を回避するために、2021年度も市及び当協会登録手話通訳者に対して現任研修会の内容を変更し、通訳上の留意点や自己健康チェックシートの活用方法について説明する場を設けた。透明マスクは、随時連絡をいただき、新ルカミィを配付して感染予防に努めている。
- (5) 旧優生保護法強制不妊手術被害者弁護団の依頼（2018年度開始）は、裁判の通訳担当と傍聴時の情報保障を継続して行った。一審判決は、2事例とも棄却の敗訴となり、現在は、二審（控訴審）の通訳対応が継続されている。他司法分野では、被疑者（陽性）となったことで警察派遣担当専通2名が濃厚接触者、検察庁派遣担当専通2名は低リスクとされたがPCR 検査を受けることが認められ陰性と判断され業務が遂行できた。コロナ感染症予防については、注意が必要である。
- (6) コーディネート業務は、申請内容を把握し対象者の理解力を配慮、関係機関と連携等、社会資源を作ることが重要である。そのためには通訳行為＝コーディネート業務が可能ともならず、日常業務を通して、社会福祉援助技術の視点を磨き、質の向上に努めている。

2. 手話通訳者認定・登録・更新の実施

(1) 一次試験（手話通訳者全国統一試験）の実施

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題・採点基準及び具体的実施方法などについて、全国手話研修センターから提供を受け、手話通訳者全国統一試験を実施した。

期 日：2021年12月4日（土）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2019年度以前の手話通訳者養成課程修了者、2020年度手話通訳者養成講座受講生修了見込者、2021年度手話通訳者養成講座受講生（再受講生）または、手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者

※合格発表：2022年2月28日（月）

(2) 二次試験（面接試験）

札幌市登録手話通訳者を認定するための面接試験を実施

期 日：2022年3月19日（土）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2021年度一次試験（手話通訳者全国統一試験）合格者及び手話通訳者全国統一試験又は手話通訳士試験の合格者

<登録申込状況>

（単位：名）

区 分	2021年度合格者	市外より転入	在札有資格者
統一試験	8	0	1
手話通訳士	0	0	0
合 計	8	0	1

<受験者及び合格者状況>

(単位：名)

区分	2020年度				区分	2021年度			
	申込者数	受験者数	合格者数	合格率		申込者数	受験者数	合格者数	合格率
2020年度 養成講座受講者	1	1	0	0%	2021年度 養成講座受講生	2	2	1	50%
2019年度 養成講座修了者	13	12	1	8.3%	2020年度 養成講座修了者	6	5	2	40%
2018年度以前 養成講座修了者	14	14	1	7.1%	2019年度以前 養成講座修了者	14	14	5	35.7%
その他	1	0	0	0%	その他	0	0	0	0%
合計	29	27	2	7.4%	合計	22	21	8	38%

(3) 登録手話通訳者状況

(2022年3月31日現在)

(単位：名)

項目	年度		
	2019	2020	2021
登録手話通訳者数	55	58	53
常勤・非常勤の仕事あり	36	33	33
通訳者自身の病気療養（育児・家族の介護）あり	26	30	26
平日の日中活動可能	17	15	12

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 登通53名中、体調や仕事、子育て、介護等が理由で休止に加えて、コロナ感染者拡大（陽性者・濃厚接触者）による長期的な活動休止、道外から帰札時も稼働期間の自粛等の理由も増え、常時25名程度が休止状態であった。コロナウイルスワクチン接種の通訳依頼が急増する中で、日中の稼働の調整は極めて困難であった。今年の雪害の影響で当日は依頼の取消、登通も外出できない、現地への到着が遅れる等の問題も発生した。
- (2) 新登通・登通3年未満の方の負荷を配慮して稼働要請は控えるようにしていたが、コロナ禍の終息がない中、登通の経験年数を問わず、稼働の意思を確認できた時には、感染予防に留意しながらご協力をいただいた。但し、登通から感染の不安に対するご意見もあり、公共交通機関の移動やタクシー利用、通勤時間帯の混雑を避ける、コロナ感染者の発生した病院へは遠慮したい等、可能な限り配慮するようにしている。
- (3) 手話通訳者をコロナウイルスワクチンの優先接種の対象としてほしいと急遽、市担当へ依頼し認められ、登通全員（当協会登通・庶務含む）へ希望者を募り、37名の名簿を提出した。接種券の郵送はされたが、各自予約をするため接種時期がまちまちであった。登通稼働率のアップには繋がらなかった。
- (4) 総務省として電話リレーサービス事業が開始（2021年7月）となり、通訳オペレーターを介しての対応をしているが、情報保障面では通訳オペレーターによって内容の通じにくさもありトラブルとなることもある。重要なオペレーターについては、市への報告をしているが登録手話通訳者の中に兼務している方もおり、通訳者の健康管理については配慮していきたいと考える。

3. 札幌市・札幌協手話通訳者現任研修会の開催

2015年度から、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換などを行なうため研修会を開催した。

期 間：2021年4月～2022年3月(全27回) 内訳 市のみ(新登録手話通訳者対象3回)協会のみ(研修4回)を含む。

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌市専従手話通訳者・札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者

講 師：基本的には専通が担当。

(内、◆合同(市・札幌協)の研修、◇札幌協のみの研修)

研 修 内 容	月 日	出席者数
1) 札幌市・札幌協手話通訳者派遣事業に関する説明会 ◆	2021年 4月2日	46名
2) 手話通訳に必要な現場対応力を考える ◆	6月29日	中止
3) 事例研修①② …通訳者の役割を考える ◆	6月21日 22日	中止
4) ロールプレイ①②…ロールプレイ&模擬通訳学習 ◆	7月26日 27日	18名 中止
5) 登録手話通訳者懇談会 …札幌市&札幌協理事	8月20日	中止
6) 技術研修 … ※日程変更したが中止 ◇	8月31日	中止
7) 事例研修③④ …リモートにて実施 ◆	9月27日 9月28日	13名 18名
8) ロールプレイ③④ ◆	11月22日 26日	15名 9名
9) 手話通訳技術①② …「読み取り技術」 ◆	1月11日 14日	6名 7名
9) 司法研修① 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺颯修氏 ◆ ※一般公開 ◇	2022年1月22日	34名
10) 司法研修② 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺颯修氏 ◇	1月23日	35名
12) 専従手話通訳者による出張報告 ◆	2月21日	6名
13) 講演「手話～よもやま話～第1弾(仮称)」 講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏 ◇	3月5日	中止
14) 健康学習会 …「2020年度全国調査結果を踏まえて 手話通訳者の頸肩腕障害の歴史とその予防 ～電話リレー通訳者の健康問題にも触れながら～」 ◆ 講師：埜田和史氏(びわこリハビリテーション)	3月29日(昼)	9名
15) 「通訳技術・統一試験に挑戦しよう！」 ◆	3月29日昼 3月29日夜	中止 30名

※2021年度 健康学習会は合同とした。

※「統一試験に挑戦しよう」は、健康学習会に振替、昼間を中止とした。

2021年度 コミュニケーション支援課 出張一覧

研修内容	人数	月 日
1) 特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2021年度 第28回総会及び第16回施設大会 第1ブロック 7施設会議 (リモート) 実施 1名 (+2名)		6月25～26 中止
2) 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2021 (リモート) 精神科診断と治療・リハビリテーションの今～聴覚障害者への支援を探る～ 1日目のみ3名		11月13～14日 1日目のみ3名
3) 2021年度 手話通訳者養成担当講師ブロック研修会【北海道】 (札幌市) 2名 ウェブ研修1月15日～2月12日+Zoom研修 2月6日		2月6日
4) 2021年度 聴覚障害者関係施設等職員対象中堅職員研修 (リモート) 1名		2月1日～ 3月31日

【手話通訳者養成等運営会議 (養成)】

- (1) 2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、まん延防止等重点措置期間が長期間となり現任研修会の中止も多くなった。2020年度と同様とならないように研修の内容を工夫し、9月にはリモートを活用して少人数制の対面方式 (通訳者の希望日を調整) にて実施した。派遣事業の現状や課題、報告書を基にした通訳現場の振り返り等、個々のアドバイスも含めて情報共有することができた。
- (2) 市登録手話通訳者懇談会も、まん延防止等重点措置期間中、夜間の会場使用が難しく、市としても出席が不可と連絡あり、年に1回の貴重な場ではあったが初めて開催を中止とした。登録手話通訳者として、コロナ禍に於ける通訳稼働の不安等を率直に伝えることができなくなったので、意見提出を希望してきた3名については市へ書面で報告をした。
- (3) 毎年、手話通訳者の特殊健康診断の結果後、担当医師若葉金三氏 (勤医協札幌病院) を招いて健康学習会を開催してきたが中止と判断した。急遽、教授埴田和史氏 (びわこリハビリテーション専門職大学) へ相談し講師を承諾していただき、リモートを活用して実施することができた。

4. 札幌市登録手話通訳者認定証授与式他・新登録手話通訳者研修会の開催

登録手話通訳者認定証授与式、後日、オリエンテーションを開催して札幌市登録手話通訳者派遣事業実施要綱や派遣事業におけるコーディネート業務の内容、事務処理等について、配付資料を基にして説明を実施する。

また、研修会としては、報告書の書き方のみの実施にて修了となった。模擬通訳や通訳稼働を体験しての語り合う場は設けることができなかった。新型コロナウイルス感染症拡大を配慮しつつ日程を調整して対応した。

期 間：2021年4月～2022年3月 (開催日程変更含)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2021年度札幌市登録手話通訳者に認定された者

(1) 新登録手話通訳者状況

区 分	2020年 一次試験合格者	市外より転入	在札有資格者	合計
新登録者数	2名	1名	2名	5名

(2) 研修会等の内容及び日程

研修内容	月日
認定証授与式・事業説明会 札幌市手話通訳者派遣事業及び、関連する事務手続き等の説明。	4月2日
研修会1) 新登通オリエンテーション	4月6日
研修会2) 「報告書の書き方…通訳行為の振り返り等の確認と意見交換	4月16日
研修会3) 「模擬通訳」	中止

(3) 手話通訳者状況報告 (2022年3月31日現在) (単位：名)

	2019年度	2020年度	2021年度
専従手話通訳者	9	10	10
登録手話通訳者	55	58	53
(内、当該年度養成講座修了者)	(0)	(2)	(1)

5. 札幌市手話通訳者の頸肩腕症候群等を防止する健診の実施

期 間：2021年6月～9月

場 所：勤医協札幌病院

対象者：登録手話通訳者(1回)・専従手話通訳者(年2回・2022年2月結果は含まず)

(1) 受診状況

健診対象者	63名	受診者数	49名	受診しない数	14名
-------	-----	------	-----	--------	-----

(2) 診断結果

A (異常なし)	14名	C 1 (要受診)	2名
B 1 (要観察)	21名	C 2 (要受診・業務対策)	0名
B 2 (要注意)	12名		

【手話通訳者養成等運営会議(派遣)】

- (1) 特殊健康診断健診結果は、A 14名中、8名(内5名は休止中)は前回より改善している。B1、B2、C1は減少した。
- (2) 2021年度の健康学習会は、健診結果を受けての若葉医師の講演は中止としたが、急遽、3月29日にびわこリハビリテーション専門職大学教授埤田和史氏の協力を得てリモートによる「健康学習会」を開催した。全国、札幌の手話通訳者の健康問題に関する取り組みを振り返りながら、現状の健康障害について学習することができたが、出席者は10名であり、学習会の出欠連絡がないことが課題と感じている。
- (3) 2022年度からは、勤医協札幌病院では健診ができなくなり、札幌ワーククリニックへ移行となった。12月には、今後も見据えて佐藤修二医師と面談して、今までの経緯を含めて相談する中、2月の登通更新時期に合わせて健診についての時期の調整を図り、4～5月限定に実施するように事務処理を進めてきた。

6. 医療手話通訳者派遣事業の実施（勤医協札幌病院委託事業）

専任手話通訳者を勤医協札幌病院へ派遣し、外来診察及び入院治療等を受けているろうあ患者と、医師及び看護師・院内スタッフとのコミュニケーションの円滑化のため手話通訳業務を行なった。

期 間：2021年4月～2022年3月（年間）

業務時間：月・火・水・木・金 9時～12時30分、13時30分～15時

第1・3土曜日 9時～12時30分

場 所：勤医協札幌病院

手話通訳者：専任手話通訳者3名・代替手話通訳者11名

(1) 実績及び状況報告

①来院者数及び住居区数（月別）

（単位：名）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来院実数	88	109	139	107	88	89	111	86	81	82	120	97	1,197
白石区	15	16	34	16	22	17	24	24	12	14	18	16	234
厚別区	12	17	18	14	14	12	12	11	10	10	18	11	159
東区	25	29	40	36	20	24	30	15	30	34	34	34	351
豊平区	17	15	17	9	9	11	12	11	6	10	14	6	137
北区	7	11	12	14	9	10	16	8	8	4	11	15	125
西区	1	8	5	4	1	2	4	6	4	1	9	5	50
南区	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
中央区	3	5	4	3	4	2	6	4	4	2	5	2	44
手稲区	3	5	7	7	6	6	4	2	1	5	1	3	50
清田区	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	3	9
札幌市外	5	3	1	4	3	4	3	3	3	2	3	2	36

②患者及び新患者の状況

（単位：名）

患者数	88	109	139	107	88	89	111	86	81	82	120	97	1,197
内、新患者数	0	1	0	0	0	2	0	2	1	0	3	1	10

③来院者数状況（年間）

（単位：名）

区分	2020年度			2021年度		
	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)
通訳件数	638	627	11	650	640	10

④年代及び性別の状況

（単位：名）

区分	19才以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	非該当	合計
男性	0	2	3	15	29	97	211	150		507
女性	0	1	0	36	78	156	388	68		727
非該当									23	23
合計	0	3	3	51	107	253	599	218	23	1,257

⑤来院者の受診科他別状況（年間）

（単位：件）

受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	合計
内科	364	眼科	198	手術	1	

整形外科	104	外科	32	検査	55	
耳鼻科	49	神経科	37	その他	479	
産婦人科	35	労衛科	7	(内、電話通訳)	4	
小児科	0	健診	74	(内、受付等通訳)	65	
		ワクチン	123			1,558

⑥入院患者数及び受診科別状況（年間）（単位：件）

区分	入院患者数	通訳件数				合計
		手術	病棟	病棟外診察	その他	
件数	4	1	85	5	16	107

⑦勤医協中央病院での対応

*今年度はコミュニケーション支援課の指示により、中央病院に専任手話通訳者が出向き2件対応した。

(2) 体制

	月	火	水	木	金	第1・3土
A	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	休
B	9:00～15:00	休	休	9:00～15:00	9:00～12:30	休
C	休	10:30～15:00	9:00～15:00	休	休	9:00～12:30

- ① 専任手話通訳者の欠員状態が続いている。また、新勤務体制により午前中1名の時間帯ができた。通常の場合と比較すると年間611時間の不足となっている。
- ② 年度当初は9名の代替手話通訳者が登録していたが、コロナ禍もあり稼働できる人が限られ確保が難しかった。
- ③ 代替手話通訳者の増員も必須だったため、2020年と2021年の新登録手話通訳者各1名育成。
- ④ 新専任手話通訳者と新代替手話通訳者は医療通訳経験がほとんどないため、育成はほぼゼロからのスタートとなり時間を要した。専任手話通訳者の本来の業務にプラスされることで、数字に表れない負担が多かった。

(3) 新型コロナ関係

- ① ワクチン接種が開始され、案内・問い合わせ・予約・接種等の対応が多かった。
案内・予約・問い合わせ等 → 256件
接種 → 106件
- ② 長引く感染状況により、病院の対応にも変化があった。有症状患者の対応をする「発熱外来」では、手話通訳者も不織布マスクを使用。また、手話通訳者の家族に有症状が出た時には病院の指示に従い、コミュニケーション支援課に報告した。

7. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者派遣事業の実施（独自事業）

札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱に適用しない行政、企業、司法機関、団体等からの依頼に基づき、手話通訳者を派遣した。

期 間：2021年4月～2022年3月（年間）

場 所：札幌市内及び近郊

受 付：手話通訳者派遣室

(1) 派遣事業の実績及び近況報告

年度 区分	2020年度					2021年度						
	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	取り 消し	確保 不可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
企 業	36	24	13	11	34:00	19	20	17	3	28:25	0	2
司 法	11	15	13	2	42:50	23	36	30	6	83:10	3	4
内 弁護士	2	1	1	0	1:55	5	5	5	0	9:05	1	3
内 警察署	6	11	9	2	33:25	8	15	9	6	41:40	1	0
内 検察庁	1	2	2	0	5:20	7	11	11	0	24:40	0	1
内 裁判所	2	1	1	0	2:10	3	5	5	0	7:45	1	0
内 刑務所	0	0	0	0	0:00	0	0	0	0	0:00	0	0
各種集会関係	60	88	18	70	188:50	83	126	49	77	303:50	23	1
内 社会生活教 室	35	55	3	52	106:25	31	36	5	31	66:40	13	0
大 学	0	0	0	0	0:00	0	0	0	0	0:00	0	0
組 合	7	9	1	8	20:00	15	26	5	21	81:55	2	3
政 党	3	4	2	2	7:00	17	32	23	9	44:50	0	1
放 送 局	46	83	75	8	83:05	63	104	98	6	109:30	3	0
そ の 他	59	103	100	3	142:45	61	124	118	6	196:00	2	0
合 計	222	326	222	104	518:30	281	468	340	128	847:40	33	11

(2) 派遣分野の状況報告

- ①2020年度から引き続きコロナ感染症拡大の終息は見えず、派遣総数は142件と増えた。特に、各種集会（企業・団体）は、リモートを活用したハイブリッド形式が主流となり、他には、政治・報道に係る申請が増えた。コロナ禍の影響はありつつも、取消は減少した。
- ②大学や教育分野等の専門職及び専門的知識等の申請も増えており、リモート活用が多い。申請後は、主催者と事前に環境の整備（機材等）を確認したりすることが増えた。派遣当日に、準備面で配慮が欠如され戸惑うことも多く、専通派遣も多くなった。
- ③行政分野では、企画時に聴覚障害に対しての合理的配慮面についての説明をしたり、参集やリモート時の手話通訳の配置については、当協会の情報メールにて啓発の協力をしてきた。また、市長会見では、定例に加えて臨時会見も多く、154件（動画の手話挿入含む）となった。特に臨時会見の場合は、休日、夜間含め翌日依頼もあり、時間外に課長の業務用携帯へ連絡が入り対応した。
- ④労働分野では、コロナ禍の工夫として、企業とオンラインで結ぶ、障がい者企業説明会の開催は、初めての試みであり、専通中心に派遣（4日間16件）した。求職者の様子も見えず、一方的な配信となり、アイコンタクトも取れず通訳保障面では課題が残った。

(3) 手話通訳者状況報告 (2022年3月31日現在) (単位：名)

	2019年度	2020年度	2021年度
専従手話通訳者	9	10	10

登録手話通訳者	104	104	89
(内、市登録手話通訳者)	(64)	(58)	(53)
(内、当該年度養成講座修了者)	(5)	(3)	(3)

8. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者現任研修会の開催

市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同現任研修会（2015年度開始）とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換等を行なうため開催した。

期 間：2021年4月～2022年3月（年間22回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者

（札幌市派遣事業と合同の現任研修は【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業に記載）

研修内容	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 技術研修 ・聞き取り通訳	8月31日	中止	
2) 司法研修 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顥修氏	2022年 1月22日	34名	
3) 司法研修 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺顥修氏	1月23日	35名	
4) 講演「手話～よもやま話～第1弾（仮称）」 講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏	3月5日	中止	

（自主研修のため出欠連絡、交通費の支給はない）

手話通訳者会議（自主）	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 通訳場面 医療・教育	6月4日	中止	
2) 通訳場面 労働・社会生活	10月8日	5名	2名
3) 通訳場面 講演会・式典	2月4日	中止	

(1) 手話通訳者会議（2014年度開始）

自主研修（出欠連絡不要）は例年少人数の出席であり稼働経験が少ない通訳者が多い。コロナ禍のため年3回のうち2回を中止とした。

(2) 司法場面における手話通訳者研修（2010年度開始）

コロナ禍のため2020年度は中止と判断したが、2021年度は講師渡辺顥修氏（甲南大学）より、研修会の企画を工夫して実施していきたいと申し出もあり、リモート会議（10回）を重ねながら、リモート研修を実現することができた。また、研修担当専従手話通訳者と札幌協理事2名及び兵庫県ろう協と通訳士の協力も得て手話司法学習教材を作成した。1日目は渡辺氏の講演、2日目は通訳者対象とした講座と実技研修を行った。

(3) 手話言語に係る専門研修会（2013年度実施）

加藤三保子氏（豊橋技術科学大学）を招き、手話通訳者養成講座の理論講義翌日に講演会を実施している。リモートを活用しての実施も検討したが、まん延防止等重点措置期間が延長となり、中止と判断した。

II 手話通訳者養成講座の開催

1. 2021年度手話通訳者養成事業の開催

手話による日常会話が可能な手話技術を有する市民を対象に、通訳技術の習得及びろう者とのコミュニケーションを図り円滑な社会生活に寄与するため必要な知識の習得を目的に、ろう者に対する理解を深め手話通訳者を目指す者を養成する講座を開催した。

カリキュラム以外に『突破！統一試験学習会』（3回）の実施を手話通訳者全国統一試験（一次試験）の合格を目的として行ったが、手話技術を学習する特別講座（2回）は中止とした。受講生の指導方法については、講師節会議で確認しながら進めている。2020年度はコロナ禍のため理論講義をDVDを活用した自宅学習に変更したが、2021年度はリモートや対面と配慮しながら実施した。養成講座受講生は少人数制であるが、コロナ感染を懸念し、長期間欠席する受講生もおり人数は減少した。まん延防止等重点措置期間はリモート講義も一部導入した。

期 間：2020年度クラス2年目 2021年4月7日～12月15日（36回）

2021年度クラス1年目 2021年7月1日～2021年3月31日（37回）

回 数：実技72回（内通訳Ⅰ課程32回 通訳Ⅱ課程30回 通訳Ⅲ課程10回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

（1）定員・受講者及び修了者の状況 （単位：名）

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2019年度	15	16	14	8	57.1%
2020年度	15	16	13	5	38.5%
2021年度	15	13	8	継続中	継続中

実技 72回（内、通訳Ⅰ課程32回、通訳Ⅱ課程30回、通訳Ⅲ課程10回）

（2）2020年度クラス（2020～2021年度・2年目）

①通訳Ⅱ課程

月 日	内 容
4月7日～4月21日・5月12日	第6～9講座 読み取り通訳
5月19日～6月9日	第10～13講座 聞き取り通訳
6月30日～9月22日	第14～27講座 場面通訳・事例検討
9月29日～10月13日	第28～30講座 ロールプレイ

※4月28日、6月16・23日は、コロナ感染拡大防止のため休講とした
講師：8名（札幌協講師4名 専通講師4名）

②通訳Ⅲ課程

月 日	内 容
10月20日	第1講座 通訳のやり方・あり方を考えよう
10月22日～11月5日	第2～4講座 事例検討とロールプレイ
11月10日～12月8日	第5～10講座 手話通訳実習1～6

講師：8名（札幌協講師4名 専通講師4名）

③理論講義 5回 ※2019年/2020年度収録のDVD配付による自宅学習

月 日	講義内容	講 師
※4月21日配付 (DVD貸出)	手話通訳の理念と仕事Ⅱ	渋谷 梯子 (専従手話通訳者)
※8月27日配付 (DVD貸出)	聴覚障害児の言語発達とろう教育	大西 孝志氏 (東北福祉大学教授)
10月15日	手話通訳者登録制度の概要	渋谷 雄幸 (札幌聴覚障害者協会理事長)
※11月10日配付 (DVD貸出)	手話通訳者の健康管理	若葉 金三氏 (勤医協札幌病院医師)

④修了時アンケートの結果

アンケートからは、リモート講義の実施は、コロナ感染対策として有益である反面、画面からは表現が見えにくい、講師に対し質問がしにくい、受講生同士の交流の機会が持てないという課題もあった。まん延防止等重点措置期間のため、会場の活用も講座時間が短縮することになった。講座は内容がわかりやすく受講できたとの意見もあった。

通訳Ⅲ課程の実習に入ってから、表現力の未熟さを実感したとの意見もあり、講師以外のろう者や専門家による現場に近い実践は難易度が高く、通訳Ⅰ・Ⅱ課程での十分な技術習得が課題となっている。例年、講座の時間内での技術向上には限界を感じるが、コロナ禍のため様々な行事や大会等も中止となり、ろう者との交流する機会も少なく活動もできないことも原因と考える。

(3) 2021年度クラス (2021～2022年度・1年目)

①通訳Ⅰ課程

月 日	内 容
6月2日～6月23日 6月30日～7月14日	第1～7講座 基本文法の復習
7月21日	第8講座 手話通訳の現場から学ぼう
7月28日～8月18日	第9～12講座 身近な場面通訳
8月25日～9月8日	第13～16講座 要約
9月22日～10月13日	第17～21講座 読み取り通訳
10月20日～10月27日	第22～23講座 手話を見て要約
11月5日 11月12日～12月1日	第24～28講座 聞き取り通訳
12月15日～2022年1月26日	第29～32講座 場面通訳

②通訳Ⅱ課程

2月2日～2月9日	第1～2講座 話を聞いて要約
2月16日～3月2日	第3～5講座 手話を見て要約
3月9日～3月30日	第6～9講座 読み取り通訳

講師：12名 (札幌協講師7名 札幌通研講師1名 専通講師4名)

③理論講義 5回

月 日	講義内容	講 師
6月25日	身体障害者福祉概論	森岡 祥広 氏 (市障がい福祉課在宅福祉係長)
9月15日	手話通訳の心構え	山田 幸雄 (専従手話通訳者)
11月10日	ソーシャルワーク概論	田村 里子 氏 (WITH医療福祉実践研究所)
12月8日	手話通訳の理念と仕事 I	渡辺 聡子 (登録手話通訳者)
3月4日	ことばの仕組み	加藤 三保子氏 (豊橋技術科学大学)

④通訳 I 課程アンケート結果

講師の手話が読み取れず内容が理解できないと答える受講生も数名おり、以前から読み取りの弱さが課題となっている。シャドーイングの学習DVDを毎年配付しているが、内容が難しくついていけないという意見も例年見られている。繰り返し見ることでわかるようになってきたとの意見もあり、自宅学習の必要性も継続して伝えていく。講師の指導方法にも意見が寄せられ、今後講師間でも検討していきたい。

講座内の学習だけでは、技術向上は難しく、札幌協行事への参加、札幌研等の団体紹介等情報提供をしている。

2. 手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

(1) 2020年度クラス (2020～2021年度・2年目)

手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

①節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅱ課程	中止	中止	中止
通訳Ⅲ課程	10月7日	2022年1月14日	

※通訳Ⅱ課程独自の各会議は中止としたが、通訳ⅢでⅡ課程の範囲も含む。

(2) 2021年度クラス (2021～2022年度・1年目)

①4月1日 (木) 事業説明会・選抜試験打ち合わせ会

②4月8日 (木) 受講者選考試験・面接試験 (一日目・夜間)

4月9日 (金) 受講者選考試験・面接試験 (二日目・昼間)

③7月9日 (金) 講師研修会「指導のポイント①」 中止

④11月4日 (木) 講師研修会「指導のポイント②」 中止

⑤節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅰ課程	① 4月22日 ② 中止	10月28日	2022年2月10日
通訳Ⅱ課程	中止	—	—

【手話通訳者養成講座講師団】

ろう講師は札幌協、聞こえる講師は札幌研が推薦する者、または専通が講座を担当し、調整して進めた。2020年度より一部リモート講義も導入しているが、インターネット環境の課題があり、機材の接続・講座の進め方等で戸惑いも見られていた。徐々に講師・受講生共に慣れ、比較的円滑に進んだが、受講生が少ないため、講師の配置人数、指導方法については検討要。

尚、全国手話研修センター主催の「2021年度手話通訳者養成担当講師ブロック研修会（北海道ブロック）」（2022年1月15日～2月12日ウェブ研修、2月7日zoom研修）については、ろう講師・聞こえる講師2名ずつ出張となった。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

(1) 2021年度も新型コロナウイルス感染症対策のためリモートを活用した講義を導入した。情報センターのインターネット環境の課題は残っているが、各講師がリモート講座の接続等準備もスムーズになり、受講生もリモート講座に順応している様子もあったが、改善には課題が求められる。リモート講座は、質問がしにくく、画面を通しての手話表現も見にくいとの意見もあり、まん延防止等重点措置期間は時間短縮としたが対面しての講座を希望する受講生が多かった。コロナ感染を懸念し欠席する受講生もいるが、ハイブリッド形式での講座は実施できていない。

(2) 養成講座は、各クラス定員15名のところ、2020・2021年度生は定数の約半分の受講生となっている。一人一人に行き届いた指導がしやすい状況ではあるが、今後も通訳者養成数の減少が不安である。

養成事業担当の専通が、通訳派遣に要する時間がかかることで事務作業が滞り、養成事業の体制が難しい実態がある。

3. 「2021年度札幌市登録手話通訳者認定試験学習会」の開催(独自事業)

手話通訳者全国統一試験に挑戦する受験者のために要約及び場面通訳に絞って学習会を開催した。年間計画では4回実施予定としていたが、コロナ禍のため昨年に引き続き3回の実施となった。10月1日は、北海道ろうあ連盟から共催の申し入れがあり、かでの2.7にて、昼間・夜間の2回実施とした。

期 間：2021年9月3日（金）・10月1日（金）・11月20日（土）

※年間計画では8月6日（金）も設けていたが中止

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：受験者及び受験を考えている者

結 果：9月3日4名 10月1日 16名（内、市外5名） 11月20日 12名

学習会の内容としては、試験科目を考慮して、翻訳（手話表現・読み取り）技術、場面通訳等に絞って実施した。

Ⅲ 手話奉仕員養成講座の開催

聴覚障害者に対する理解を深め、手話の普及並びに手話奉仕員を目指す者を養成した。

1. 手話講習会（入門）事業（札幌市委託事業）

(1) 2021年度札幌市手話講習会の開催

聴覚障害者に対する理解を深めることと、手話で初歩的な日常会話ができることを目的とした講習を開催した。

札幌市内10区にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため開講を遅らせ、定員を削減したうえで、感染状況により会場開催または動画配信を併用する方法で開催した。結果として、殆どが動画配信となった。

期 間：2021年6月7日（月）～10月25日（月）（18回）※通常21回

①定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	中央A	中央B	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
当初定員	30	30	35	40	40	30	30	30	30	35	30	360
削減後定員	30	20	20	20	25	20	30	30	20	20	20	255
申込数	88		62	67	64	41	38	21	32	69	29	511
受講決定	24	17	15	16	22	14	23	21	18	15	18	203
修了者	15	11	9	11	10	6	13	9	11	9	14	118
	定員		応募者数			受講者数		修了者数		修了率		
2020年度(動画)	360		568			144		62		43.0%		
2021年度(動画併用)	255		511			203		118		58.1%		

③実技（16回）（毎週月曜日）

6月7日	開講式 第1・2講座 表現基礎演習
6月14, 21日・7月5, 12, 19, 26日	第3～8講座 自己紹介
8月2日	第9講座 自己紹介～まとめ～
8月23, 30日, 9月6, 13, 27日・10月4, 11日	第10～17講座 話してみましよう
10月18日	第18講座 総まとめ

④理論講義(合同)(1回)・・・動画配信

「聴覚障害の基礎知識」講師 若浜ひろ子

「手話の基礎知識」講師 京野大樹

⑤修了式・・・理事長挨拶の動画配信（修了証書の授与は中止）

(2) 手話講習会の講師・助手に対する研修及び会議等の実施

① 4月12日（月）事業説明会 市社会福祉総合センター

② 4月12日（月）合同講師補助講師研修会 市社会福祉総合センター

「手話奉仕員のテキスト概要と指導ポイント」

講師 若浜ひろ子氏（札幌協理事）

③ 7月14日（月）各区講師補助講師打ち合わせ 市社会福祉総合センター
（※各区会場で開催できず、1カ所で開催。2区は別日程で個別に開催。）

④ 7月30日（金）講師補助講師節会議 市視聴覚障がい者情報センター

⑤11月 8日（月）各区講師補助講師反省会 各区会場

⑥11月29日（月）全体講師補助講師反省会 市社会福祉総合センター

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

(1) 12月中に市内各大学へポスター・チラシを郵送、若年層への周知に力を入れた。また、市の協力により、イオングループを通しての周知も行った。新型コロナウイルス感染症の影響により会場開催と動画配信の併用

での開催とし、できる限り会場で開催できるよう、定員を部屋の定員の50%程度に削減して開始したが、結果、殆どが動画配信（オンデマンド）となったことは残念であった。

- (2) 当選者に講座実施方法の変更通知後、テキストは代金振込確認後、郵送する方法で販売し（送料は市負担）、テキスト購入者を受講決定者（一部再受講者はテキスト購入を条件とせず）とした。
受講者のうち、5名が自宅で動画視聴できない環境にあり、会場のみ参加の予定でテキストを購入したため、2022年度受講希望あれば、優先の扱いとしている。
- (3) 全講座（会場・動画）のチェックシートへの記入とアンケートの提出をもって修了とした。殆どが動画での受講となったため、正式な証書ではなくメール貼付で修了証書を送信した。
- (4) 2020年度（全て動画）と2021年度（動画併用）の受講者に限っては、2022年度手話講習会への応募を認めている（通常、修了者は再受講不可）。

2. 中級手話講習会（基礎）事業

(1) 2021年度札幌市中級手話講習会の開催（札幌市委託事業）

手話で日常会話を行なうのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得し、聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度などについての理解と認識を深め、地域で活動する人材の育成を図るための講習を開催した。

期 間：2021年7月1日（木）～2022年2月10日（木）（26回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

①定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2019年	50	90	50	42	84%
2020年	50	64	50	42	84%
2021年	50	36	34	23	67.6%

②受講者の住居区分状況 (単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
申込者	4	7	5	2	4	4	2	3	5	1	37
受講者	4	7	4	2	4	4	2	2	5	1	35
修了者	2	6	4	0	4	2	2	1	2	0	23

※合格通知後、コロナ感染を懸念しての辞退2名あり

③開講式 7月1日（木） ※5月14日より日程変更＋リモート（動画配信）

④実技（毎週木曜日）

月 日	内 容
7月15日～8月26日 10月7日～12月9日	第19～34講座 基本文法
12月16日～1月6日	第35・36講座 総合練習Ⅰ
1月13日～2月3日	第37～40講座 総合練習Ⅱ・まとめ

※7月8日、9月2・16日は休講。

講師：8名（札幌協推薦講師5名 札幌研推薦講師2名 専通1名）

⑤理論講座

※いずれも事前撮影したものを動画配信にて自宅視聴後感想文提出。

- ・7月1日(木)配信「ボランティア活動」 講師：三神久子氏
(中級手話講習会担当講師)
- ・9月9日(木)配信「障害者福祉の基礎」 講師：遠藤ひかり氏
(札幌市障がい福祉課在宅福祉係)
- ・9月30日(木)配信「聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度」
講師：若浜ひろ子氏・京野大樹氏
(中級手話講習会担当講師)

⑥修了式・講評・反省会 2022年2月10日(木)

(2) 中級講習会の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

- ①4月5日(月) 事業説明会
- ②4月12日(月) 合同講師助手研修会 「奉仕員養成課程のねらい」
- ③中止 講師研修会「指導技術」
- ④節会議・評価会議・反省会

内 容	日 程			
節会議	①4月14日(水)	②10月15日(金)	③中止	④2022年1月12日(水)
講師反省会	2022年2月24日(木)			

【中級手話講習会講師団】

2021年度はろう講師5名、聞こえる講師3名が担当、奉仕員担当専通も状況把握のため加わっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年度の開講式は当初より日程を延期、主催挨拶と理論講義を、手話講習会同様に動画配信とした。2021年度は、まん延防止等重点措置期間が長期間となり、夜間は会場の使用制限もあり、講座を時間短縮とした。理論講義は動画配信としたが、各講座は日程調整しながら最後まで対面で実施できた。

今年は申込が定員を下回り、受講者が少なかったが、2グループ制は継続とし、講師配置も例年通りとした。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 中級手話講習会受講生は、手話講習会とは違い、一方的な配信ではなく、できる限り対面での講座を継続したいと考えて実施した。2021年度は受講生が少なく、感染対策面では十分なソーシャルディスタンスを確保して対面が実施できた。理論講義の動画配信を導入したことについて、受講生からは、感染拡大時には安心であり、繰り返し視聴することで学習が深まるという意見と、リモートの一方向的な視聴ではなく対面で手話表現のアドバイスや質疑応答を受けたいとの賛否両論であった。
- (2) カリキュラムの変更に伴い、理論講義全3回は全てオンデマンド配信とし感想文の提出（提出率 91%・70.5%・64.7%）により、講座が時間短縮となった期間もあったが、1講座ずつ対面で実施することができた。
アンケートから、基本文法を学んだことで自分の手話表現や意識が変わった、講師の教え方はわかりやすかった等の意見が多かった。
- (3) 当初5月の開講予定を7月に延期し、3回の休講としたので、カリキュラムは2月中旬まで延長した。後半、コロナ感染拡大に対する不安や仕事の都合等で欠席者は微増したが、最後まで熱心に通う受講生も多く、対面講座は大変好評であった。

【情報・コミュニケーション部】

(1) 手話講習会について

新型コロナウイルス感染拡大のため、開講を6月に延期し、感染状況に合わせて各区会場での開催と自宅での動画視聴を併用して開催する方法とした。結果、殆どが動画配信となり、会場での開催は僅かとなった。動画は2020年度に撮影したものを配信したが、理論講義は急遽理事2人に講師を依頼して、新たに撮影した。

受講生には戸惑いもあったが、オンラインの授業と対面授業の両方を体験した結果、思った以上に良かった、又はもっと対面をしたい、等の反応があった。

(2) 中級手話講習会について

コロナ禍のため開催延期、回数を減らさないで時間を短縮し、感染防止に配慮し開催してきたが、無事終了できた。定員割れとなり、またコロナ対策のため、講習会へ通えない受講生が数人いた。時間短縮のため内容を変更し、指導方法を工夫し、講師たちと支え合いながら進めることができた。

(3) 手話通訳者養成講座について

各講習会と同様に開催を延期し、オンライン講座に切り替え、途中から時間短縮のうえ、対面講座を再開した。オンラインも対面も指導内容は基本的には同様だが、オンラインに慣れていないため、指導方法を工夫しながら行った。

対面授業の際は、感染防止に配慮しながら進めた。講師担当との情報メール共有に努めた。

(4) 講座全般について

2020年度から続いた対面での各手話講座の減少のため、講師たちは手話指導ができず、学習する機会が少なく、ろう講師を担う人材が減少したため、不安がある。

改めて良い講師になるために講師育成講座、研修センター手話講座などで学習し、必要な知識、指導方法などを学ぶための取り組みが必要である。

(5) 専門部会議について

各区情報コミュニケーション部の対面会議日数は4回、初めてLINEグループを作り、オンライン会議2回を行った。しかし情報交換もできない状態であった。各区手話サークルも同様に休会、または回数減少している様子だった。ろうあ者と聞こえる人が触れ合う機会が少なく、手話が薄れてしまうことへの不安があった。一部のサークルはオンラインに切り替えて交流できた所もあったが、今後の新型コロナウイルスの状況が見えないので、各支部と手話サークルとの連携を強化し、札幌研と札幌連と共に情報を共有しながら個々の課題把握に努めることが必要である。

IV 札幌市手話通訳者養成等運営会議（派遣・養成）

構成：札幌市障がい福祉課・札幌聴覚障害者協会・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会

期間：2021年4月～2022年3月（8月除く月1回開催）時間 19：00～20：45

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	区分	主な内容	人数
1	4月15日	派遣	派遣状況、広域派遣 登通状況について	9名
2	5月20日	養成	各講座の申込・選考状況、講師割り振りについて、 現任研の報告	中止
3	6月17日	派遣	派遣状況 広域派遣 苦情対応について	11名
4	7月15日	養成	各講座の進捗状況、手話講師育成講座、手話通訳 者現任研修会について	13名
5	9月16日	派遣	派遣状況、広域派遣、制度外派遣について	12名
6	10月21日	養成	各講座の進捗状況、育成講座、手話通訳者現任研 修会、全国統一試験及び学習会について	13名
7	11月18日	派遣	派遣状況、広域派遣、登通状況について	9名
8	12月16日	派遣	コロナ禍での派遣状況、遠隔手話通訳サービスに ついて	11名
9	2022年 1月20日	養成	2022年度各講座に向けて、養成・育成講座の進捗 状況、統一試験、現任研修会について	13名
10	2月17日	派遣	派遣状況、広域派遣、関係機関との連携について	11名
11	3月17日	養成	2022年度各講座の申込状況、育成講座の修了、現 任研修会の状況、コロナ対策について	11名

※2021年度は、Zoomを活用したリモート出席者も含めている。

【緊急事態対応 新型コロナウイルス感染対策】

- (1) 養成事業では、2019年度末からコロナ禍での各種講習会や講座・研修会の対策が必要となり、対応に追われた。リモート講義は馴染まない講座もあるが、理論講義では、手話講習会や中級手話講習会にもリモート（動画配信）導入することができ、講師・受講生共にリモート活用に順応してきている。但し、リモート講義における事前準備には、事務作業の多さは変わらず、対応が厳しい状況が続いている。
基本的なコロナ感染対策（会場換気、消毒液等の物品補充、受講生の検温記録、ソーシャルディスタンス等）にも留意した。
- (2) コロナ禍を通し、リモートの活用が至るところで実施されてきており、各講座でも、奉仕員課程ではオンデマンド配信による理論講義を増やし、講師会議にもリモートを活用する場も増えている。但し、リモート活用には、資料や会議予約を事前にメール送信し、機材の準備や音量調整等、事務作業の負担増がある。情報センターのインターネット環境だけでなく、機材の脆弱さもあるため、安定した講義の実施に向けて、機器の整備を早急に行う必要がある。
- (3) 派遣事業では、コロナ禍においても、生命・医療分野の申請は多く、病棟には許可証の指示、派遣通訳者の検温の提出を求められることもあった。現状としては、登録手話通訳者の医療補償がない中では、重篤化した依頼では、専従手話通訳者の派遣が増えた。ろう者が安心して制度を活用できる状況でないことが課題である。
- (4) コロナ感染症拡大の終息がない中、保健所には緊急連絡先（時間外）を伝えて課長対応してきた。現状としては、感染陽性者（在宅・入院先）や濃厚接触者の健康観察に係る通訳保障を行った。保健所の体制もあり連絡調整に時間を要することが多い。遠隔手話通訳方式については、タブレット端末の利用率は低く、周知・啓発については課題である。
- (5) 手話通訳者自身の高齢化と健康問題、家族（高齢者）の同居による介護

等の理由により、通訳者の稼働へ制約ともなっている。従来の対面通訳に加えて、遠隔手話通訳方式も導入されたことで、コロナ禍における派遣について、稼働時に少しでも不安を払拭できるような有効な対応が求められている。

【養成事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 森岡祥広係長、遠藤ひかり職員
札幌協：中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、若浜ひろ子理事、
福岡静枝理事、渋谷梯子課長、佐藤有香係長
札幌連：宮本英行会長、鍛冶由佳子副会長
札幌研：中村雅子事務局長、樋口道雄広報部長

【派遣事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 森岡祥広係長、遠藤ひかり職員
札幌協：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、
若浜ひろ子理事、渋谷梯子課長、金原さとみ係長、佐藤有香係長
札幌研：中村雅子事務局長、樋口道雄広報部長

V 手話教室の開催

手話を社会一般に広めるとともに、それを使用する聴覚障害者についての知識や理解も深めてもらうために次の事業を行なった。

1. 手話教室事業の開催（独自事業）

(1) はじめての手話教室

①第40回はじめての手話教室（入門）

手話の学習経験がない者を対象に、聴覚障害者の生活・文化等を理解するとともに手話で簡単な日常会話ができるようになることを目的として日中に手話教室を開催した。

期間：2021年5月7日（金）～10月1日（金）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話講習会の経験ない者、初心者

受講人数：受講生6名

*新型コロナウイルス感染症の流行により2回で中止。

②第2回オンラインはじめての手話教室（入門）【夜間】

手話の学習経験がない者を対象に、聴覚障害者の生活・文化等を理解するとともに手話で簡単な日常会話ができるようになることを目的として夜間にオンライン会議システムZoomを活用した手話教室を開催した。

期間：2021年6月25日～11月19日（全20回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター（スクーリング3回）

対象：インターネットが利用できる環境にある方で手話講習会等の学習経験のない方

受講人数：受講生3人（修了生3名）

③第3回オンラインはじめての手話教室（入門）

手話の学習経験がない者を対象に、聴覚障害者の生活・文化等を理解するとともに手話で簡単な日常会話ができるようになることを目的として日中にオンライン会議システムZoomを活用した手話教室を開催した。

期間：2021年10月8日～2022年3月11日（全20回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター（スクーリング7回）

対象：インターネットが利用できる環境にある方で手話講習会等の学習経験のない方

受講人数：受講生3人（修了生3名）

(2) ①第18回フォローアップ手話教室

②第3回フォローアップ手話教室（夜間）

新型コロナウイルスの影響で中止した。

(3) 第14回中級手話教室（基礎）

入門編で習得した会話技術に加え、基本文法も学ぶことで特定の聴覚障害者とならば日常会話ができるようになるとともに、福祉制度の基礎知識や聴覚障害者の歴史についても理解できることを目的として日中に中級手話教室を開催した。

期間：2021年5月19日（水）～2021年12月1日（水）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：入門課程の修了者または同程度の力量がある者、手話で簡単な会話ができる者

受講人数：受講生6名

*新型コロナウイルスの影響により4回で中止。

(4) Zoomで手話（はな）そう！～会話してみましよう～

全国手話検定試験について、試験方法や流れなどを知ってもらうと共に身につけた手話単語を活かしたスピーチの仕方、質疑応答のコツなど、コミュニケーション力を上げることを目的にオンラインで開催した。

①期間：2021年9月28日（火）19：00～20：30

対象：5級・4級の受験者または受験をめざす方

受講者：2名

②期間：2021年9月30日（木）19：00～20：30

対象：3級・2級の受験者または受験をめざす方（筆記試験対策はなし）

受講者：5名

(5) 2021年度はじめての手話教室（医療編～薬局で働く人対象～）（夜間）

新型コロナウイルスの影響で中止した。

(6) 2021年度はじめての手話教室（福祉編～介護・福祉など働く対象～）

新型コロナウイルスの影響で中止した。

(7) 2021年度はじめての手話教室（医療編～病院で働く人対象～）（夜間）

新型コロナウイルスの影響で中止した。

(8) 耳がきこえない・きこえにくい方のための手話教室

新型コロナウイルスの影響で中止した。

2. 札幌市ミニ手話講座（札幌市委託事業）

札幌市から委託を受け手話を学習した事のない一般市民を対象に講座を開催した。

期間：2021年8月～2022年3月（10回）

対象：札幌市民

回数	年月日	会場名	対象	参加人数
第1回	2021年8月6日(夜間)	オンライン (札幌視聴覚障がい者 情報センター)	市民	9名(3名)
第2回	8月23日(午前)		市民	3名(欠席無し)
第3回	9月12日(午前)		小学4～6年の 子供・保護者	2組(欠席無し)
第4回	9月21日(夜間)		市民	8名(欠席無し)
第5回	10月15日(午後)		市民	4名(欠席無し)
第6回	11月15日(夜間)		中学生	5名(1名)
第7回	12月9日(午前)		市民	2名(2名)
第8回	2021年1月15日(夜間)		市民	7名(8名)
第9回	2月9日(午後)		市民	7名(1名)
第10回	3月10日(夜間)		市民	7名(4名)

* () 当日欠席者数

【手話普及事業担当】

- ・はじめての手話教室は4月から開講予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により「まん延防止等重点措置」が発令され、日程延期で対応するも2回で打ち切りとなった。
- ・中級手話教室はコロナの状況を見ながら自宅学習(DVDでの講義視聴)も取り入れて開講したが、まん延防止等重点措置が適用されたため27回中4回で中止した。オンライン講義への切り替えも検討したが、受講生の希望やネット環境、習熟度を考えると継続は難しいと判断した。
- ・指導内容やカリキュラムが同じでも、対面型とオンライン型では配慮すべき点が異なるため、受講生個人の状況に合わせた指導を意識して工夫した。
- ・各講座に共通する課題は申し込み人数の伸び悩みであるが、最少催行人数である8名は確保すべく、呼びかけ方法などを工夫していく。
- ・札幌市ミニ手話講座は、2020年度から引き続きオンラインで開催した。参加者の年齢層は幅広く、積極的に学んでいる姿が見受けられたが、昼間の申込人数が特に少ないのが課題。対策を練る必要がある。

VI 手話講師の派遣

聴覚障害者に対する理解とコミュニケーション方法や言語としての手話を教え、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深めるために聴覚障害者の講師を派遣した。

1. 聴覚障がい・手話啓発事業

期間：2021年4月～2022年3月（年間）

場所：市内各所（学校、企業等）

(1) ボランティア活動センターからの依頼 16件

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
6月16日	ヒューマンキャンパス高校(オンライン)	高校1年	10名
6月17日	ヒューマンキャンパス高校(オンライン)	高校2年	20名
6月25日	ひばりが丘小学校(オンライン)	小学校4年(2クラス)	46名
7月9日	手稲鉄北小学校(オンライン)	小学校5年(3クラス)	116名
7月16日	栄東小学校(オンライン)	小学校5年(3クラス)	88名
9月9日	北都中学校(オンライン)	中学校1年(6クラス)	196名
10月5日	真駒内曙中学校(オンライン)	全校	289名
10月6日	栄中学校	中学校2年(2クラス)	70名
10月26日	月寒東小学校	小学校4年(3クラス)	114名
11月5日	開成中等教育学校	中学校2年(2クラス)	40名
11月24日	新陽小学校	小学校5年(2クラス)	70名
12月1日	札幌苗小学校	小学校4年(2クラス)	73名
12月14日	新琴似北小学校	小学校5年(2クラス)	74名
12月16日	月寒小学校	小学校5年(3クラス)	108名
12月23日	みなみの杜高校支援学校	高校1年	52名
1月26日	みどり小学校(オンライン)	小学4年(2クラス)	60名

(2) ボランティア活動センター主催手話講座の講師派遣依頼 5件(中止1件)

年月日	講座名	対象	人数
2021年4月20日	手話体験講座	一般人	11名
5月12日～6月23日	ボランティアのため入門講座	コロナ影響で中止	
12月16日	手話体験講座	一般人	13名
2022年1月13日～2月24日	ボランティアのため入門講座 (コロナ影響で7回のうちに2回のみ開催)	一般人	11名
2022年1月28日 (6/17から延期)	障がい者講師養成講座 (オンライン)	団体職員	5名

(3) 直接依頼(企業・団体・他) 5件(延期3件・中止3件)

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
2021年5月20日(午前・午後)	札幌シニア大学	コロナウイルスの 影響で延期	
5月28日(午前・午後)	札幌シニア大学		
6月4日(午前・午後)	札幌シニア大学		
7月21日	札幌医科大学(オンライン)	医学部	110名
2021年12月21日～ 2022年1月21日	札幌市教育センター (限定公開YouTube)	教職員	74名
1月14日(午前・午後)	札幌シニア大学	シニア学生	15名
2月3日(午後)	札幌シニア大学	コロナ影響で中止	
2月4日(午前)	札幌シニア大学		
3月17日(午前・午後)	札幌シニア大学		

3月22日	雪印メグミルク株式会社	スタッフ	5名
-------	-------------	------	----

2. 手話養成普及事業

(1) 講師派遣事業

期間：2021年4月～2022年3月（年間）

場所：市内各所

学校名・企業名等	期間・回数	学科名等対象	人数
札幌聖心女子学院	通年木曜日14回	中学2年(2クラス)	22名
	通年木曜日14回	中学3年(2クラス)	24名
	通年木曜日32回	高校1年	18名
経専学園北海道観光専門学校	前期12回	エアライン科2年	16名
	後期11回	エアライン科1年	16名
	前期12回	旅行科2年	12名
	後期12回	旅行科1年	11名
	後期11回	ホテルウェディング科2年	30名
経専学園医療事務薬業専門学校	前期11回	医療事務学科2年	33名
	後期12回	医療事務学科2年	6名
	前期11回	薬業学科2年	4名
	後期12回	薬業学科2年	1名
光塩学園女子短期大学	前期16回	保育科2年(2クラス)	17名
札幌どうぶつ専門学校	前期10回	犬の美容、動物看護、 ペットライフ学科2年	37名
三幸学園ブライダル& ホテル観光専門学校	前期15回	ホテルエアトラベル科2年	23名
札幌心療福祉専門学校	後期15回	精神保健福祉科1年	11名
	後期15回	精神保健福祉科3年	8名
経専学園北海道保育専門学校	後期前半×8回	こども未来学科3年	15名
	後期後半×8回	こども学科2年(2クラス)	35名
さっぽろ市民カレッジ(ちえりあ)	後期14回	高校生・一般	12名
札幌医科大学	後期12回×2コマ	看護学科・作業療法学科 理学療法学科1年	90名
三幸学園医療秘書福祉専門学校	後期10回	介護福祉科1年	23名
専門学校北海道福祉・保育大学校	7月～2月 7回	学生・職員	3～7名
せいとく介護こども福祉専門学校	前期8回×4科	介護福祉科1年	18名
		こども福祉科1年 (保育・幼稚園教諭コース)	19名
		こども福祉科1年 (保育コース)	15名
		こども福祉科2年 (保育コース)	16名

一番街商店街振興組合 レディス会手話サークル	コロナによる影響で対面学習は休止。 一方で、会員限定のYouTube配信用の 手話教材の作成依頼を受け、手話指導 と動画撮影および編集を請け負った。	6名
---------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	----

3. 講師・助手事業説明・研修会

新型コロナウイルスの影響で中止した。

【手話普及事業担当】

- ・単発講座の派遣依頼数は、2020年度よりやや増えたが、依然新型コロナウイルスの影響は続き、必要に応じて対面授業からオンライン講座に切り替えるなどの対応で進めている。
- ・新規の専門学校2校も、休校することなく対面及びオンライン併用で予定通りの授業を行えた。今後も同様の対応は続くと思われる。
- ・ろう講師やきこえる講師および助手の高齢化で、人材確保が厳しい状況。講師・助手ともに登録者の増員と研修会等による研鑽の場が必要である。

VII 第16回全国手話検定試験の実施

*試験会場として実施協力（主催：社会福祉法人全国手話研修センター）

(1) 地域試験員会代表者および面接委員責任者会議

日時：2021年9月9日（木）13：30～16：00

会場：Zoom方式

出席者：京野事務局長、土居職員、杉山職員

(2) 受験者のための学習セミナー【中止】

日時：2021年9月11日（土）9：30～16：30

会場：市視聴覚障がい者情報センター

*新型コロナウイルスの国内感染拡大の影響を受け、中止とした。

(3) 第16回全国手話検定試験

日時：2021年10月9日（土）5級・4級

10月10日（日）3級・2級

10月16日（土）準1級・1級

会場：市視聴覚障がい者情報センター

*新型コロナウイルス感染の防止対策を行ったうえで、定員を大幅に減らして開催した。

	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	合計
申込者	34名	21名	21名	21名	6名	1名	104名
受験者	33名	18名	20名	20名	6名	1名	98名
合格者	33名	17名	20名	12名	3名	1名	86名
面接委員	3名	2名	4名	6名	2名	2名	19名

面接委員：ろう者10名、きこえる者9名

要員：ろう者7名、きこえる者9名

(4) インターネットで受験する第16回全国手話検定試験

日時：2022年2月11日（金・祝）5級

2月12日（土）2級

会場：市視聴覚障がい者情報センター

*オンライン会議システム「Zoom」を活用した面接試験

	5級	2級	合計
申込者	20名	20名	40名
面接委員	2名	2名	4名

(5) 2021年度 面接委員研修報告および協議会

日時：2022年2月25日（金）13：30～14：30

会場：Zoom方式

出席者：京野事務局長、杉山職員

【手話検定試験担当】

新型コロナウイルスの収束が見えず、団体試験を実施していた短大および専門学校は今年度の開催を見合わせた。受験者のための学習セミナーも準備は進めていたが、市中の感染状況からやむを得ず中止した。

会場試験は大幅に定員を減らし、一定の距離を保ちながら飛沫防止フィルムや消毒用アルコールなどを併用して対応、小規模での開催となった。

昨年からはじめたインターネット試験への協力依頼も引き続き来て、4日程のうちの2日間、Zoomをつないで面接試験を行った。

危惧するところは、面接委員の資格失効についてである。北海道内に点在する面接委員の所属確認やスキルアップを道内4会場（旭川・釧路・函館）で情報共有しながら取り組んでいきたい。

VIII 手話学習支援アプリの研究開発に伴う協力

日本ユニシス株式会社は手話学習者がアプリを使用して学習者の手話表現をAIが認識して正しい手話が表現されているか評価する「手話学習支援アプリ」を開発している。当協会としては協力の形で、利用者視点での開発支援や手話データ採取協力など行った。

期間：2021年10月～2022年3月

内容：①打合せ（出席：日本ユニシス株式会社、札幌研、札幌協）

②サンプル撮影（本番撮影のため）

③本番撮影（理事・監事、女性部役員の協力）

IX 手話通訳者育成指導者養成の開催

1. 手話講師育成講座事業（札幌市委託事業）

(1) 2021年度手話講師育成講座事業の開催（2014年度開始）

手話奉仕員と手話通訳者養成事業を担う講師（人材）の確保を確実に進めるため、講習技術の向上を図り適切な講習が可能な講師を増やすことを目的としている。

①手話奉仕員養成課程 定員40名

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
入門課程	4回	11月13日・14日	41名	9名	21.9%
基礎課程	4回	12月5日・2022年1月16日			

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、佐藤裕介、渋谷梯子、菅原美樹、山田幸雄

②全課程 定員20名

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
通訳Ⅰ課程	2回	2月5日	22名	6名	27.2%
通訳Ⅱ課程	2回	2月13日・20日			

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、渋谷梯子、山田幸雄

③理論講義（合同）

	講師	実施日	受講者数
ことばの仕組み(手話)	筑波技術大学教授 大杉豊氏	3月12日	16名
手話通訳の理念と仕事 Ⅰ・Ⅱ	全国手話研修センター理事 近藤幸一氏	3月13日	16名

【手話講師育成講座講師団】

講師団は札幌協会員で講座の指導経験が豊富な者、聞こえる講師は専通が担当しているが、今年度は新しく講師メンバーに、ろう者・専通から1名ずつ加えて、後任育成も意識している。講師会議にて前年度の反省点を踏まえ、2019年度より各テキストの第1講座から順番に、数年かけてすべての講座内容を学べるよう進めており、2023年度で一巡する予定である。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) コロナ禍であるが、札幌の新規感染者数が落ち着いていたこともあり、開講式は予定通り実施した。実技は、講師によるモデル講義の他、受講生に事前準備をしてもらう模擬講座の場面を増やして実施した。
- (2) 理論講義では「ことばの仕組み（手話）」を筑波技術大学教授大杉豊氏、「手話通訳の理念と仕事」を全国手話研修センター理事近藤幸一氏に依頼できた。当初、大杉講師は来札して対面講座の予定であったが、1月に入り、全国的にオミクロン株による感染者が急増したことにより、両講師ともリモート講義での開催となった。インターネット環境の課題はあるが、設備面であれば解決が困難である。大杉氏の事前課題（Youtube限定の動画配信）は、養成事業係専用メールアドレスを活用して受講生へ周知している。
- (2) 申し込みは定員を超えていたが、例年欠席者も多くなるため、会場の定員を超えない人数であることを考慮して受講者を決定した。コロナ感染者が再拡大しまん延防止となった2月～3月は、1回の講座時間を短縮したため、通訳者課程は予定より回数減となった。
- (3) 講師の人材育成は急務であり、一人一人の講師の資質上も必須である。

X やさしさっぽろ手話（社会福祉協議会主催） 2016年6月開始

社会福祉協議会との共同で初心者向けの手話講座を開催してきた。「札幌市障がい者コミュニケーション条例」及び「手話言語条例」の制定に向けた取り組みとして開始している。

日 時：第2・4火曜日（祝日除く）11：30～12：00

会 場：社会福祉総合センター 3階会議室等（事前申込・定員制）
 対 象 者：主に初心者対象としているが条件等はなく自由参加。
 実施内容：基本的な手話単語は6回を1クールをとし、2020年度からは、香
 会話中心の内容としている。

実施年度	実施回数	延べ参加人数	販売書籍
2019（令和元）年	19回	611名	2冊
2020（令和2）年	8回	87名	—
2021（令和3）年	12回	99名	—

【公2】生活支援事業

I 聴覚障害者支援センターほほえみ

1. 地域活動支援センター事業（札幌市補助事業）（定員：15名）

聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進め、重複及び高齢の聴覚障害者に対する障害者福祉サービスを提供した。

（1）地域活動支援センターほほえみ西

①外出機会が少ない高齢ろうあ者、盲ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援する

利用時間：（月～水・金・土 10時～15時）

場所：西区二十四軒1条5丁目3-12

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

㊦通所者数・月別(延べ人数) (単位：名)

	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月
男性	112	56	131	148	130	140	139	152	99	85	54	73
女性	70	48	104	87	69	87	85	94	61	57	29	46
合計	182	104	235	235	199	227	224	246	160	142	83	119

㊧各区分・登録者数(延べ人数) (単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外
男性	1	4	6	4	4	1	1	1	5	2	0
女性	0	2	4	3	5	0	0	0	4	3	1
合計	1	6	10	7	9	1	1	1	9	5	1

（2）地域活動支援センターほほえみ厚別

2020年より4月1日より休止

（3）ほほえみ西 年間行事報告

(単位：名)

月日	内容	場所	参加者数				
			利用者	ボランティア	職員	その他	合計
2021年	お楽しみ会	福祉センター	10	2	2	0	14

4月21日							
5月19日	学習会	ほほえみ西	(中止)				
6月16日	社会見学	—	(中止)				
7月31日～ 8月6日	ほほえみオリンピック	ほほえみ西	27	4	3	0	34
8月18日	お楽しみ会	福祉センター	(中止)				
9月15日	社会見学	—	(中止)				
9月27日	避難訓練	ほほえみ西	7	0	3	0	10
11月10日	カフェ食事会	ほほえみカフェ	6	1	3	0	10
11月13日	カフェ食事会	ほほえみカフェ	8	1	3	0	12
12月20日～ 12月25日	ほほえみクリスマス	ほほえみ西	37	6	3	0	46
2022年 3月14日	西12周年お祝い会	福祉センター	(中止)				

(4) 2022年度に向けての課題

①ほほえみ西

- ①定員アップと若返りを目指し、新規利用者を獲得するため、PR活動の強化を図る。
- ②新型コロナウイルス感染対策を行いながら、交流できる企画や個々に合った活動内容を考え、利用者を楽しんでもらえる内容を提供する。
- ③高齢化に伴い、利用者の生活にも変化が出ており、地域活動支援センターへの通所に関しては他施設や家族との連携を密にしていく。

2. 就労継続支援事業（指定障害福祉サービス事業）

就労継続支援B型事業（定員：35名）

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業として、聴覚障害者が安心して働くことのできる作業所の運営を行なった。

(1) 利用者数

(単位：名)

	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月
利用者数	41	41	42	42	42	42	41	41	39	36	36	36
延べ 利用者数	637	564	721	630	635	627	670	595	561	494	472	558

(2) 行事参加状況

新型コロナウイルス感染防止のため社会見学など自粛した。

(3) 出店バザー

月日	訪問販売・委託販売・ バザー名	場所
2021年 4月8～9日	清田区役所バザー	清田区役所
4月12～13日	コープさっぽろ ルーシー店バザー	コープさっぽろルーシー店

4月15日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
4月16日	訪問販売	札幌市産業振興センター
4月17～18日	札幌協理事会 販売	視聴覚障がい者情報センター
4月22日	訪問販売	かでの2.7
4月24～25日	北ろう連理事会 訪問販売	かでの2.7
4月27日	訪問販売	和田精密技研株式会社
5月7日	訪問販売	札幌市産業振興センター
5月20日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
5月27日	北ろう連 販売	かでの2.7
5月28日	訪問販売	和田精密技研株式会社
6月4日	訪問販売	札幌市産業振興センター
6月7日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
6月16日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
6月17日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
6月24日	訪問販売	かでの2.7
6月25日	訪問販売	和田精密技研株式会社
6月27日	札幌協理事会 販売	視聴覚障がい者情報センター
7月2日	訪問販売	札幌市産業振興センター
7月12日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
7月15日	訪問販売	かでの2.7
7月21日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
7月27日	訪問販売	和田精密技研株式会社
8月5日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
8月6日	訪問販売	札幌市産業振興センター
8月17日	訪問販売	視聴覚障がい者情報センター
8月18～19日	道庁就労施設展示 販売会	本庁舎1階道政広報コーナー
8月23日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
8月24日	訪問販売	和田精密技研株式会社
8月25日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
8月29日	札幌協理事会 販売	視聴覚障がい者情報センター
9月2日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
9月3日	訪問販売	札幌市産業振興センター
9月16日	北ろう連 販売	かでの2.7
9月21日	訪問販売	和田精密技研株式会社
9月27日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
9月22日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
10月1日	訪問販売	札幌市産業振興センター

10月5～7日	ナイスハートバザール	アリオ札幌
10月11日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
10月14～15日	清田区役所バザー	清田区役所
10月17日	札幌協理事会 販売	視聴覚障がい者情報センター
10月19日	訪問販売	和田精密技研株式会社
10月21日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
10月27日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
10月28日	訪問販売	かでの2.7
11月4日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
11月5日	訪問販売	札幌市産業振興センター
11月10日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
11月11～12日	コープさっぽろ ルーシー店バザー	コープさっぽろルーシー店
11月15日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
11月16日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
11月25日	訪問販売	かでの2.7
11月26日	訪問販売	視聴覚障がい者情報センター
11月30日	訪問販売	和田精密技研株式会社
12月2～3日	清田区役所バザー	清田区役所
12月8日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
12月9日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
12月10日	訪問販売	札幌産業振興センター
12月12日	札幌協理事会 販売	視聴覚障がい者情報センター
12月13日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
12月14日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
12月16日	訪問販売	かでの2.7
12月16～18日	チカホバザー	札幌駅前通地下広場
12月21日	訪問販売	和田精密技研株式会社
2022年 1月7日	訪問販売	札幌市産業振興センター
1月12日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
1月13日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
1月18日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
1月19～21日	南地区会バザー	中央区民センター
1月24日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
1月25日	訪問販売	視聴覚障がい者情報センター
1月27日	訪問販売	かでの2.7
2月26～27日	札幌協理事会 販売	視聴覚障がい者情報センター
3月11日	訪問販売	札幌市産業振興センター
3月11日	南地区会バザー	中央区民センター
3月14日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
3月15日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
3月17日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
3月24日	北ろう連 訪問販売	かでの2.7

3月25日	訪問販売	和田精密技研株式会社
-------	------	------------

(4) 委託販売場所

	店名	場所
1	元気ショップ	大通東西線コンコース内
2	元気ショップ「いこーる」	札幌駅西コンコース内
3	Ohana E.S 合同会社	市民交流プラザ等
4	円山動物園	西門オフィシャルステーション内

(5) 実習受け入れ状況

2021年度の受け入れはなし。

(6) 見学・取材 受入れ状況

コロナウイルス感染防止のため受け入れを自粛した。

(7) 防災訓練

月日	場所	参加人数			
		利用者数	職員数	その他	合計
2021年7月27日	ほほえみ作業所	2	1	0	3
10月26日	ほほえみ作業所	4	2	0	6
2022年3月7日	菓子工房ほほえみ	5	2	0	7

(8) 送迎サービス

(ア) 事業所間の送迎車での利用：ほほえみ作業所⇄地下鉄菊水駅

2021年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延回数	151	36	68	175	169	174	171	153	139	95	88	31

(イ) 各事業所⇄自宅

交通手段	2021年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
車	事業所	16	38	34	1	5	3	4	3	11	6	30	0
	家族	20	28	40	20	12	18	16	10	6	19	18	32
公共交通機関	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	ボランティア	4	0	0	0	3	0	9	6	7	8	2	6
徒歩	職員												0
	回数	40	66	74	21	20	21	29	19	24	33	50	43

(9) ほほえみ作業所

さまざまな体験を通して、一人ひとりの持っている力を活かした就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

内容：下請作業・施設外就労・自主製品制作及び販売、送迎サービス、防災訓練等実施

①取り組み：下請け作業、委託作業、施設外就労など

		作業内容	昨年比
下 請 け 作 業	A社	シール貼作業、エプロン折り作業など	約30万円収入減
	B社	月～金 毎日、封入作業など	約15万円収入減
	C社	手提げ袋の裁断、ヒモ付け作業など	約4.5万円収入増
	D社	梅にんにく3粒を袋に入れ、シーラーでの真空包装作業	約12万円収入増
	E社	紙製品の加工作業。	新規契約。約4万円収入増
	F社	畑作業を行う。	新規契約。約8万円収入増
	G社	地域情報誌(ふりっぱー)の配達。	新規契約。約5万円収入増
新聞帯封作業	札幌協の新聞と北聴新聞・ほほえみ便りの発行作業	昨年から継続	
施設外就労	企業の倉庫内での箱折り、梱包作業など	11回増	

②授産製品の見直しや工夫による効果

手芸品	マスクケース製作をカフェと分担し行った。 定番商品を多く作成し在庫を安定させた、結果、大量の注文にも対応できるようになった。
紙製品	クラフト紙で紙袋を作成し定番商品になるよう、企業に働きかけた。元気ショップだけでなくパチンコ店の福祉コーナーに景品として置いてもらえることになった。

③作業所の売上推移

(単位：円)

	バザー	ショップ	下請作業	収入計
4月	13,940	11,207	105,419	130,566
5月	750	6,800	233,878	241,428
6月	830	5,225	110,399	116,454
7月	635	5,210	202,954	208,799
8月	1,020	8,630	196,682	206,332
9月	2,510	8,360	129,575	140,445
10月	16,678	8,315	111,364	136,357
11月	5,715	8,495	216,799	231,009
12月	8,735	4,580	193,990	207,305
1月	400	14,789	149,039	164,228
2月	340	7,745	84,035	92,120
3月	3,660	7,820	77,378	88,858
合計	55,213	97,176	1,811,512	1,963,901

【成果と目標】

ほほえみ作業所では、コロナの影響でバザーが中止となり売上に影響が出た。下請作業も同様に受注が減った企業もある。しかしB型全体の工賃アップにもつながるよう共同で出来る新しい作業の開拓を行った。その結果、社会情勢の影響を受けにくい企業と契約でき、収入増につなげることが出来た。

2022年度は、札幌市の委託作業「小学校の水飲み場清掃」が決まった。B型全体で取り組み、継続的な収入につながるよう取り組んでいきたい。

(10) 菓子工房ほほえみ

社会参加を目的とし売上を伸ばすだけではなく、作業内容を通して生活習慣やマナーなどについても支援した。

作業時間：月～金 9：30～15：00

場所：白石区菊水3条3丁目2-8

内容：菓子・パン製造、販売、送迎サービス、防災訓練等

①取り組み：現状の把握をしながら、利用者の技術の向上、社会参加を目指す。

製菓・製パン作業	仲間の製パン技術が向上したことにより、より多くのパンを作れるようになった。コロナの感染拡大で訪問販売やバザーの中止もあり、売上げが下がる月もあったが、パンセットの予約販売などもあり昨年度より売上げを伸ばすことが出来た。
ミニショップ	昨年から増えた常連のお客さまには、定着して通っていただいている。新規のお客様を開拓できるように、パンの種類を出来るだけたくさん並べられるようにする。
社会への参加	コロナの感染拡大の影響で外出行事はほぼ実施できなかった。カフェお食事会は8月に2回開催することができ、外出を制限している仲間も久しぶりの外食となりカフェの仲間と会うこともでき、とても嬉しそうだった。

②来客数・売上

月	ショップ 売上 (単位：円)	その他売上 (単位：円)	菓子工房 売上 (単位：円)	来客数 (単位：名)	営業日数 (単位：日)
4月	74,145	61,174	135,319	100	13
5月	42,359	46,630	88,989	51	9
6月	48,155	64,562	112,717	79	12
7月	51,996	67,069	119,065	82	10
8月	65,387	45,894	111,281	96	12
9月	65,886	46,322	112,208	98	12
10月	63,082	118,214	181,296	94	10
11月	53,070	72,915	125,985	83	10
12月	65,699	77,692	144,891	74	12
1月	43,801	52,403	96,204	63	11
2月	71,993	77,543	149,536	77	11
3月	67,945	60,640	128,585	57	12
合計	713,518	792,558	1,506,076	945	886

③新しい取り組みと効果

農家からの委託作業	さつまいもペースト作りをときの森衣食住さんと相談しながら進めている。まだ試作の段階だが盲ろうの仲間が担当できる仕事なので、来年度は作業工賃も含めて相談していきたい。
袋詰めの下請け作業	以前から取引のあったお茶の土倉さんから、下請け作業の依頼があった。今後も続けて依頼していただけるように慎重に作業を進めていきたい。

【目標】

菓子工房ほほえみでは、製菓、製パン作業を通してやりがいのある仕事を提供し、社会参加につながる経験ができるよう取り組みを続ける。

(11) ほほえみカフェ

菓子製造・カフェ業務の他、今年度から始めた下請けの仕事を通して、新たな可能性を広げられるよう就労支援を行った。

作業時間：火～土 9：30～15：30

場所：豊平区豊平3条7丁目1-1

内容：菓子・ケーキ製造、販売、接客、調理補助、清掃等

①来客数・部門別売上

月	人数(名)	カフェ部門(円)	菓子部門(円)	お弁当(円)	手作品・その他等(円)	計(円)
4月	178	144,020	331,279	89,600	2,280	567,179
5月	113	56,005	129,507	61,350	203,000	449,862
6月	199	88,489	257,879	161,200	25,200	532,768
7月	183	121,366	238,976	165,750	28,573	554,665
8月	171	106,934	196,823	100,450	21,573	425,780
9月	182	125,123	169,690	126,300	5,666	426,779
10月	210	68,330	393,077	82,950	2,278	546,635
11月	223	133,776	323,407	71,750	6,795	535,728
12月	196	150,763	691,512	63,000	13,421	918,696
1月	96	75,257	150,859	57,050	2,310	285,476
2月	86	27,270	213,079	15,750	2,310	258,409
3月	167	159,760	129,669	77,450	0	366,879
計	2,004	1,257,093	3,225,757	1,072,600	313,406	5,868,856

②ギャラリー貸出、イベント

内容	期間	詳細・実績等
ギャラリー無料貸出	4月	ぶんれい一座の絵手紙展
	5月～6月	デフフォトクラブ 写真展
	7月	介護支援センターほほえみ 展示
	8月	聴覚障害者グループホームよつば 展示
	9月	元田好子様 手作り人形展

	10月	アイヌ展
	11月～12月	地域活動センターほほえみ西 展示
	1月～3月	絵手紙教室作品展
手話サロン	第2水曜日	中止
絵手紙教室	第1、第3 木曜日	4月・7月・11月・12月に開催

③取り組み

期間	内容
4月～	マスクケース製作、販売
4月～3月	訪問販売：さっぽろ産業・障害者事業所なごみ 障害者事業所ユニゾン・和田歯技研 かでの2.7・デイサービスほほえみ白石
4月～3月	ハワイスコーン委託製造
10月	ハロウィーンケーキ販売
12月	クリスマスケーキ販売
2月	バレンタインケーキ販売

【成果及び目標】

2021度前半は、前年度から続く新型コロナウイルス拡大の影響を受け、バザーや訪問販売が中止となり、菓子製造の機会や来客数が大幅に減った為、収益に影響があった。

そのような中、利用者と職員が話し合いを重ね、マスクケースなどの新商品開発に力を入れたほか、新たに下請け会社と契約し、下請け作業にも取り組んだ。バザーの機会は少なかったが、訪問販売を中心に販売の強化に取り組み、クリスマスなどのイベントのお菓子販売も好調だった為、収入の補填ができた。

2022年度も新商品の開発と、販売先の新規開拓に努め、売り上げ増を目指したい。

(12) ほほえみ食堂

調理・接客業務の仕事を通して新たな可能性を広げる就労支援を行なった。コロナ禍の影響による経営不振などの理由で、10月31日付けで、食堂の委託契約を解除し閉店することとなった。

作業時間：月～金 9：30～14：30

場所：西区二十四軒2条6丁目札幌市身体障害者福祉センター内

内容：調理・接客、販売、清掃等

来客数・売上

月	人数(名)	営業日数(日)	食堂・収入(円)
4月	42	7	24,850
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0

8月	75	7	57,000
9月	17	2	12,700
10月	143	9	91,950

【成果】

ほほえみ食堂では、新型コロナウイルス感染症拡大の為、身体障害者福祉センターの休館や入館制限となることが多く、通常の食堂業務が出来なかった。一般のお客様がご来店できない中、センター内の職員向けに定食等の提供を行ったが、売り上げは昨年比大幅減となった。

そのような中でも、利用者と職員が話し合いを重ね、お客様に喜んでいただけるようなイベントやお得メニューなどを工夫した。

3. 共同生活援助事業（指定障害福祉サービス事業）

聴覚障害者グループホームよつば（介護サービス包括型）
（入居定員よつば5名、さくら3名）

障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業として、聴覚障害者が安心して生活できる場所の運営を行った。

① 利用者数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
よつば	149	150	148	151	153	148	155	150	155	152	140	145
さくら	90	88	90	90	90	90	92	89	85	86	84	93

② 行事

㊦防災訓練 5回実施

月日	場所	参加人数			
		入居者	職員	その他	合計
2021年 6月21日	指定緊急 避難場所	5	3	0	8
7月18日	指定緊急 避難場所	3	1	0	4
7月27日	ほほえみ 作業所内	2	2	2	6
10月26日	ほほえみ 作業所内	4	2	0	6
2022年 3月15日	さくら内	3	1	0	4
3月28日	よつば内	5	2	0	7

㊧外出レクリエーション

月	場所	参加者数			
		入居者	職員	その他	合計
2021年 7月	川下公園ピクニック	7	3	0	10
7月	豊平公園ピクニック	6	2	0	8

12月	しめ縄作り	3	1	2	6
2022年 3月	テーブルマナー講座 (グループホーム内)	8	4	0	12
3月	テーブルマナー講座 (中華料理店)	8	3	0	11

*新型コロナウイルス感染予防のため、予定通りに外出レクレーションを実行できなかった。コロナまん延防止解除後に「テーブルマナー講座」を開き、勉強会と楽しい食事会を行った。

*今年も定期健康診断受診（勤医協札幌病院）を行った。

㊦わたしの日

月	希望	場所	入居者	職員
2021年7月	街の本屋さんで買い物がしたい	札幌駅周辺	1	1
9月	電気屋さんに行きたい	某電気店など	1	1
10月	JR に乗って小樽で美味しいもの 食べたい	小樽	1	1

*入居者の誕生日に合わせて、自分の行きたいところや同行職員の希望をだしてもらい、一緒に計画し願いを実現する日とした。しかしコロナ禍の為、外出予定が立てられず個人の願いを叶うことは難しかった。

③見学者

2021年度はなし

【取り組みと成果】

・慢性的な体調不良については、受診する機会を増やしたことで病気への正しい理解につながり服薬量の軽減にもつながっている。また、通院をするなかで自身を見つめ直し、自分に何が必要なのかを考える機会にもなっている。

【目標】

入居者がより快適に暮らせるよう生活環境を整え、支援の充実を図りたい。

4. 職員研修

(地域活動支援センター・就労継続支援B型事業所・共同生活援助事業所)

月日	研修内容	担当・講師等	参加者	
			人数	対象
2021年 5月12日	工賃向上フォーラム2021 in とっとり	厚生労働省障害福祉課 就労支援係長 諏訪林智氏	1	作業所
7月3日	北海道障がい者虐待防 止・権利擁護研修	主催：北海道保健福祉部福祉局障がい者 保健福祉課講師： 地域生活支援センター	1	カフェ
8月19・ 26日	発達障がい講座 STANDARD	札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる	1	作業所

10月1日 ～31日	聴覚障害者関係施設等 新入職員研修	社会福祉法人全国 手話研修センター	1 2	地活 作業所
10月15日	市民のための介護保険・ケ アマネフォーラム「新型コロナワクチンウ イルスとワクチン接種後の感染対 策」	札幌市介護保険サー ビス事業所連絡協議 会	1	地活
11月15日	障がい者虐待防止研修 (動画配信)	札幌市社会福祉協議 会	1 2	作業所 GH
12月12日	全国聴覚言語障害者 福祉研究交流会	社会福祉法人 京都 聴覚言語障害者福祉 協会	1 1	カフェ 作業所
12月18日	全体職員研修 なんのため に・どのように働くか ～京都法人実践報告から	社会福祉法人 京都聴覚言語障害者 福祉協会	14	各所 職員
11月29日 12月6日	個別支援計画事業者 説明会(基礎研修)	特定非営利活動法人 北海道地域ケアマネジ メントネットワーク	1	菓子 工房
2022年 1月25日	札幌市メンタルヘルス研 修Cコース 職場のメン タルヘルス～みんなのセ ルフケア～	札幌市	1	地活
2月26日	通所事業所研修会	全国ろう重複障害者 施設連絡協議会	1 1 2	菓子 工房 作業所 GH
3月12日	全国ろう重複障害者施設 連絡協議会中堅職員研修	全国ろう重複障害者 施設連絡協議会	1 1	菓子 工房 作業所
3月31日	発達障害とパートナー・ 家族関係を考える	北海道、発達障害者 支援センターあおい そら	1	GH

5. 聴覚障害者支援センターほほえみ事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2021年4月～2022年3月（年3回実施）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	備考
第1回	2021年4月10日 10：00～12：00	7名	会場・オンライン開催

第2回	8月28日 13:30～15:30	7名	会場・オンライン開催
第3回	2022年1月15日 10:00～12:00	8名	会場・オンライン開催

運営委員：

北海道高等聾学校：菊池涼教諭

北海道札幌聾学校：青木淳教頭

札幌手話サークル連絡協議会：久保田昭人会計部長、
藤波貞子広報部長

札幌手話通訳問題研究会：佐藤薫会計部次長、高川さとみ一般会員

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：樋口道雄事務局長

那須美枝子会計部長

聴覚障害者支援センターほほえみ

就労継続支援B型事業所ほほえみ作業所：柏崎弘子所長

ほほえみカフェ：秋井利江店長

聴覚障害者支援センターほほえみ

地域活動支援センター：岩崎剛所長

(公社)札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長、宮内博子広報部長

【福祉・労働部より】

・新型コロナウイルス感染防止のため参加者の健康・安全を第一に考慮しオンライン参加の対応も行った。各事業所より職員不足解消に向けての取り組み方法などが出された。事業報告の後、質疑応答、意見交換や情報交換を行った。今後も運営委員から意見交換とアドバイスをいただきながら、より良い運営を行っていく。

6. 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会主催の街頭募金活動（参加協力）
コロナ禍のため実施なし。

II 字幕・手話付き映像作品の制作

1. 聴覚障がい者向け映像資料制作事業（札幌市委託事業）

札幌市の聴覚障害者のニーズを把握し、聴覚障害者への情報提供に資する貸出用ビデオ、札幌市政に関するインターネット配信用動画を制作した。

期間：2021年4月～2022年3月（年間）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター聴覚障害者情報提供施設事務室

内容：年間33本制作（内訳は以下のとおり）

(1) 講座撮影・教材 6本

分類	タイトル	時間(分)
講座 (3本)	旧優生保護法とは？	85
	ろう学生のキャンパスライフ	82
	私の生き立ち&旅行について	20
	ミニ講座～どうやって手話表現ができるのか？～	48

教材 (3本)	手話を読み取ろう2021年度①	22
	手話を読み取ろう2021年度②	18

(2) ニュース 12本

タイトル	時間(分)
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年4月号)	26
① 2021年度新規札幌市登録手話通訳者 ② 障がい者交通費助成と敬老パスについて	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年5月号)	10
① サ高住とデイサービスでオンライン交流	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年6月号)	8
① ほほえみの郷でフラワーアレンジメント作り	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年7月号)	30
① 電話リレーサービスの使い方	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年8月号)	20
① 札サ連研修交流事業の無観客開催	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年9月号)	12
① 札幌ろうあ老人クラブが市民農園で野菜収穫	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年10月号)	15
① 第7回札幌デフ・フォトクラブ写真展	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年11月号)	29
① 手塚満里氏デフリンピック体験談	
札幌聴覚障がい者ニュース(2021年12月号)	20
① ろう者カーリング体験会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年1月号)	11
① 消費生活相談員が手話劇で注意喚起	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年2月号)	15
① 札幌ろうあ者パークゴルフクラブの学習会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年3月号)	49
① 第44回耳の日市民のつどい	

(3) 自主企画制作 5本

タイトル	時間(分)
2021年度札幌市手話動画集(1)	34
ろうあ農園で野菜づくり	16
札幌の穴場スポット	24
わかさぎ釣りに挑戦	20
2021年度札幌市手話動画集(2)	30

(4) インターネット配信用映像(札幌市政に関する内容) 10本

タイトル	時間
札幌市の情報をLINEで配信しています	4分50秒
新型コロナウイルスワクチン接種について	5分7秒
新型コロナウイルス感染症FAX相談用紙の記入方法	6分
視聴覚障がい者情報センターってどんなところ	9分3秒
いくつ知ってる？視覚障がい者の「読みたい」を叶える本のカタチ	8分31秒
いっしょに話そう！手話で、ジェスチャーで	6分
盲ろうという障がいをご存じですか？	7分16秒
中央区役所・中央保健センターは仮庁舎へ移転しました	6分23秒
一方的に送り付けられた商品はすぐに処分可能です	4分58秒
障がい者のコミュニケーションに関する活動を行う団体紹介冊子	2分58秒

2. 「目で聴くテレビ」用ビデオ制作

認定NPO法人障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」へ『札幌デフビデオ』12本（毎月1本）の他、「それいけ！くいしんぼ」1本を提供。

3. 職員研修

「令和3年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会」

オンライン形式（zoom）で参加（参加者：亀田職員）

日時：2021年11月10日（木）9：50～16：30

ホスト会場：新潟県聴覚障害者情報センター

プログラム

- (1) 「障害者の情報アクセシビリティについて」
講師：慶応義塾大学特任教授 川森雅仁氏
- (2) 「字幕CMの取り組み」
講師：株式会社ニューメディア出版局長 吉井勇氏／字幕CM協議会
- (3) 「新潟の映像制作の取り組み」
講師：新潟県聴覚障害者情報センター所長 坂井隆行氏
- (4) 「メディア専門委員会の体制変更及び次年度以降研修会のあり方について」
講師：専門委員長

4. 令和3年度市長記者会見に係るインターネット配信用映像データ（手話動画付き）動画制作業務

・令和3年度市長記者会見 開催回数（合計39回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例	2	1	2	2	1	2	2	2	1	2	1	2	20
臨時	3	5	1	2	2	1	0	0	0	2	3	0	19
合計	5	6	3	4	3	3	2	2	1	4	4	2	39

5. その他の札幌市委託事業（単発事業）

令和4年新成人向け市長メッセージ動画への手話動画挿入業務
（札幌市市民自治推進課）

Ⅲ 字幕・手話付き映像作品及び情報機器の貸出等

1. 聴覚障がい者向け映像資料等貸出事業（札幌市委託事業）

（1）業務内容

- ①聴覚障がい者の文化享受の増進を図るために、聴覚障がい者に対して、字幕または手話付き映像資料等の貸出を行なった。
- ②聴覚障害者の利便に資する情報機器を展示し、情報機器の啓蒙・啓発を行なうとともに、機器の利用に関する相談に応じた。
- ③パソコンを聴覚障がい者に対し利用開放するとともに、操作方法等の指導を行なった。
- ④聴覚障害者情報提供施設内の受付・案内業務等、聴覚障害者情報提供施設にかかわる事務を行なった。

（2）期間：2021年4月～2022年3月

（3）場所：市視聴覚障がい者情報センター2階貸出室

（4）開室時間

曜日	開室時間
月曜日・火曜日	10時～17時
水曜日	10時～20時45分
木曜日	10時～19時
金曜日	10時～20時30分

（5）貸出内容

①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	1	1	0	6	3	0	10	2	4	8	0	2	37
利用人数	1	1	0	13	2	0	2	1	3	3	0	1	27
利用件数	1	1	0	4	2	0	2	1	3	3	0	1	18

②札幌市委託事業で札幌協が制作したビデオ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	42	13	0	37	25	14	42	20	43	28	38	60	362
利用人数	65	32	0	64	12	6	66	8	19	11	62	120	465
利用件数	17	5	0	16	15	10	19	9	19	11	15	29	165

③情報機器利用貸出(ビデオ、DVD閲覧、IT閲覧、「目で聴くテレビ」閲覧、プロジェクター利用) (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ビデオ閲覧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
IT閲覧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
目で聴く閲覧	0	0	0	1	1	1	1	1	6	1	2	2	16
手話学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	4	0	0	6	4	0	6	7	3	11	9	10	60
OHC	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	4	0	0	8	5	1	7	8	9	12	12	14	80

(6) 貸出対象者：北海道内に住所を有する次の者

- ①身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者（児）及び保護者
- ②聴覚障がい者関係団体、学校及び施設
- ③手話通訳に係るボランティアなど聴覚障がい者の福祉向上に関心がある者

2. 全国各地の聴覚障害者団体の機関紙閲覧

全国各地の聴覚障害者団体から送られてくる機関紙をビデオ・情報機器利用貸出室で自由に閲覧できるように随時、整理した。

3. 札幌市視聴覚障がい者情報センター 見学対応

(見学場所：ビデオ・情報機器利用貸出室、スタジオ、聴能言語訓練室、手話通訳者派遣室)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体(件)	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
個人(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人数	0	0	0	0	5	0	0	11	11	0	0	0	27

IV 聴覚障がい者社会生活教室の開催

札幌市聴覚障がい者社会生活教室開催等事業（札幌市委託事業）

聴覚障害者の生活相談及び生活支援に対応し、必要な知識の習得や情報交換を目的とし行なった。

1. 聴覚障がい者社会生活教室の開催

障害者総合支援法の「生活訓練等事業」に基づき、①職場生活②コミュニケーションの方法③家庭の生活設計④育児⑤芸術、文化等一般教養⑥人間関係等に関する内容の教室を開催した。

期間：2021年4月～2022年3月

(年30回開催、うち協会各区支部で2回ずつ開催)

会場：市視聴覚障がい者情報センター・各区民センター他

参加対象：札幌市内居住で身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者

(1) 社会生活教室開催状況

月日	テーマ	講師 ※敬称略	参加者
4月3日	新型コロナウイルス禍で災害が起きたら	古本尚樹(防災・危機管理アドバイザー)	9名
4月8日	歴史講座・創成川	高橋悟(札幌市生涯学習センター市民講師)	23名
5月6日	市民農園で初めての野菜づくり	※コロナ禍で開催中止(実績に含む)	—
7月29日	電話リレーサービスの使い方	宮本真知子(電話リレーサービス・オペレータ)	17名
8月28日	運動不足を解消しよう	※コロナ禍で開催中止(実績に含む)	—
9月26日	サバイバル術を学ぼう	※コロナ禍で開催中止(実績に含む)	—
10月14日	絵本の手話語り	太田利実(元・図書館司書)	27名

10月17日	ロコモ体操をやって元気になろう	奥村宜久(作業療法士)	17名
10月23日	包丁研ぎ教室	宮本隆一(株式会社宮文・代表取締役社長)	11名
10月24日	災害時のご飯づくり	水口 綾香(防災ライフプランナー)	12名
11月4日	高齢者交通安全教室	札幌市交通安全運動推進委員会	27名
11月11日	デフリンピック体験談	手塚満里(元・デフリンピック・バドミントン女子日本代表選手)	24名
11月13日	Zoom をやってみよう	長谷和明(北海道ろうあ連盟・青年部長)	10名
11月14日	メーター検針と水道料金の支払い	安澤哲(札幌市水道局総務部営業課長)	4名
11月14日	災害時に役立つご近所力	杉崎富夫(手稲区星置弘星町内会・厚生福祉部長)	9名
11月21日	Zoom の使い方を楽しく学ぼう	宮本真知子(オンライン手話教室・講師)	8名
12月5日	NET119緊急通報システムの使い方を知ろう	石橋和也(札幌市消防局警防部消防救助課システム係)	6名
12月5日	日常のマナー	中村純子(1級礼法講師)	9名
12月12日	包丁研ぎのコツを覚えよう	宮本隆一(株式会社宮文・代表取締役社長)	11名
1月13日	消費者トラブルに備えよう	瀬尾亜砂子・加賀谷美之(札幌消費者協会)	18名
1月23日	ハローワークと障がい者就業・生活支援センターの違い	松本隆一(札幌市障がい者就業・生活支援センターたすく・センター長)	4名
1月30日	健康ヨガ	※コロナ禍で開催中止(実績に含む)	—
2月6日	110番アプリシステムの登録をしよう	※コロナ禍で開催中止(実績に含む)	—
2月6日	フライングディスクを楽しくやってみよう	※コロナ禍で開催中止(実績に含む)	—
2月19日	災害・危機に備えて	池内裕司(札幌市危機管理対策室・危機管理対策課長)	9名
2月26日	我が家の安全	※コロナ禍で開催中止(実績に含む)	—
3月10日	手話落語	林家とんでん平(落語家)	26名
3月13日	住宅に潜む火災危険と対策	※コロナ禍で開催中止(実績に含む)	—
3月26日	災害発生時の地域での支えあい	※コロナ禍で開催中止(実績に含む)	—
3月27日	水害時の避難と注意	※コロナ禍で開催中止(実績に含む)	—
3月27日	胆振東部地震の後 里塚地区市街地の経過を知ろう	榎井竜二(札幌市清田区里塚地区市街地復旧担当課)	13名

(2) 月別開催回数および参加者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	2	1	0	1	1	1	4	6	3	3	4	5	31
参加者数	32	0	0	17	0	0	67	82	26	22	9	35	290

(3) 支部別参加人数

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
テーマ「災害関係」	0	9	9	12	0	0	13	9	6	0
テーマ「災害以外」	10	0	9	0	0	4	11	10	6	11

V 聴能言語訓練の実施

札幌市聴能言語訓練事業の実施（市委託事業）

コミュニケーション手段に著しい障がいをもつ聴覚障がい者に対し、その聴力の損失の程度により、残存聴力の活用、聴覚以外による言葉の習得の訓練を行ない、聴覚障がい者の自立を図るとともに社会の適応を高める訓練を実施した。

期間：年間82回

場所：市視聴覚障がい者情報センター聴能言語訓練室

訓練内容：聴力測定、補聴器のフィッティング、補聴器装用訓練、発声・発語訓練、日常生活訓練

対象：市内に居住する身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者・失語症者

①障がい別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障がい	1	0	0	2	0	0	1	1	2	2	2	2	13
中途失聴	3	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	10
重複障がい	6	8	10	9	7	9	6	5	4	4	4	3	75
言語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	8	10	12	7	9	8	7	7	7	7	6	98

②内容別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内容概説	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構音	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	2	9
総合練習	6	0	0	4	0	0	6	4	1	3	1	1	26
読話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	8	0	8	7	9	2	2	4	2	4	3	63
合計	10	8	10	12	7	9	8	7	7	7	7	6	98

備考

- ・新型コロナウイルスの感染予防のため、一部郵便物による指導を行った。

VI 電話リレーサービス事業

(1) 電話リレーサービス事業の実施（国補助事業）

聴覚障害者が一人で電話を掛けられるよう電話リレーサービス（聴覚障害者が聞こえる者と電話する際に、通訳者が間に入って手話や文字で通訳するサービス）の提供体制を構築することで、聴覚障害者の地域生活における自立の推進に資する事を目的に実施した。

- ・北海道・東北ブロック（札幌・宮城・福島共同）として実施。

稼働時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10時～14時	福島	宮城	札幌	札幌	福島
14時～18時	宮城	宮城	札幌	札幌	福島

サービス提供日時：月曜～金曜 10時～18時

1日8時間(祝日・年末年始は休み)

場所：市視聴覚障がい者情報センター 法人事務室

期間：2021年4月～2021年6月30日

対象：電話リレーサービスの利用申請をした聴覚障害者

依頼件数 (単位：件)

	4月	5月	6月	合計
手話	57	49	90	196
文字	131	117	127	375
聞こえる人	0	1	0	1
合計	188	167	217	572

(2) 電話リレーサービス事業の実施

(一般財団法人日本財団電話リレーサービス委託事業)

聴覚障害者が一人で電話を掛けられるよう電話リレーサービスの提供体制を構築することで、聴覚障害者の地域生活における自立の推進に資することを目的に実施した。

事業内容：聴覚障害者等による電話の円滑化に関する法律に基づいて聴覚障害者・難聴者・発話困難者の手話または文字ときこえる人の音声を双方向に通訳するサービスを実施。(電話リレーサービス通訳オペレーション業務)

サービス提供日時：月曜～金曜 午前8時～午後6時

1日10時間(土・日・祝日・年末年始は休み)

一部、(公社)北海道ろうあ連盟へ委託した。

期間：2021年7月1日～2022年3月31日

対象：きこえる人および電話リレーサービスの利用申請をした聴覚障害者

説明会・研修会	会場	月日
令和3年電話リレーサービス業務委託事業者説明会(全国の各事業所)	オンライン	4月22日(木)
電話リレーサービス業務意見交換会(全国の聴覚障害者情報提供施設各事業所)	オンライン	4月27日(火) 5月6日(木)
電話リレーサービス事業説明会(第1ブロック聴覚障害者情報提供施設各事業所)	オンライン	5月20日(木)
電話リレーサービスオペレーターマニュアル説明会(全国の電話リレーサービス業務受託事業所)	オンライン	6月28日(木) 6月29日(金)
電話リレーサービス委託先事業者検討会(全国の電話リレーサービス業務受託事業所)	オンライン	9月29日(水)

電話リレーサービス「北海道・札幌合同」オペレーター研修会	かでの2.7	11月3日（水・祝）
電話リレーサービス手話事業所定例会（全国の電話リレーサービス手話実施事業所）	オンライン	2022年 1月19日（水） 3月11日（水）
令和4年電話リレーサービス業務委託事業者説明会（全国の各事業所）	オンライン	2022年 1月25日（火）
電話リレーサービス事業説明会（札幌オペレーター）	かでの2.7	2022年 3月19日（土）

(3) 電話リレーサービス地域講習会（オンライン）

日時：2021年12月9日（木）14：00～15：30

内容：日本財団電話リレーサービスが聴覚障害者向けの地域講習会を実施し、この日は札幌が協力して呼びかけなど行った。

VIII その他（会議等）

①特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会
2021(令和3)年度総会及び第17回(通算第29回)施設大会

日時：2021年6月24日（木）9：45～16：00

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター（オンライン）

内容：（午前）施設大会

講演1「聴覚障害者情報提供施設が今後担うべき役割・期待」

講師：今井貴士氏（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部企画課
自立支援進行室 室長補佐）

講演2「運動の方向性と聴覚障害者情報提供施設に対する期待」

講師：中西久美子氏（全日本ろうあ連盟
情報・コミュニケーション委員会 委員長）

（午後）総会・全大会

出席者：札幌市視聴覚障がい者情報センター 佐野孝道所長

京野大樹常務理事兼事務局長、渋谷悌子課長

②全国聴覚障害者情報提供施設協議会令和2年度第1ブロック（北海道・東北地区）活動研修会

日時：2022年2月21日（金）14：00～16：00

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター（オンライン）

内容：「遠隔手話通訳サービス・相談支援体制について」をテーマに各聴覚障害者情報提供施設からのアンケート報告後、質疑応答や意見交換を行った。

出席者：札幌市視聴覚障がい者情報センター 佐野孝道所長

京野大樹常務理事兼事務局長、渋谷悌子課長

③カルチャーナイト2021

日時：2021年7月16日（金）～20日（火）

今年は期間内に札幌市内の公共施設や文化施設などが動画配信を行い、札幌市視聴覚障がい者情報センターからは4本の動画を制作した。

【公3】啓発・広報事業

I ろうあ者への理解促進を図る「耳の日市民のつどい」の開催

3月3日の耳の日を記念して、聴覚障害者と手話を学ぶ市民、また一般の市民の方々と手を取り合って明日への生きる喜びを分かち合い、市民に対して、ろうあ者の存在と理解を広げる啓発を目的として行った。

耳の日事業「第44回耳の日市民のつどい」

期日：2022年3月6日（日）

会場：道立道民活動センター[かでの2.7] かでのホール

内容：記念講演「～夢をかなえて～日本初ろうのバス運転士」

講師：松山 建也 氏（東京バス株式会社）

参加人数：来場型101名（一般 39名、会員 61名、高校生以下1名）

オンライン型71名（一般 30名、会員 40名、高校生以下 1名）

対象：聴覚障害者、手話サークル員、一般市民等

公共施設や障害者関係・福祉関係の団体など、幅広く呼びかけを行った。

今回は新型コロナウイルス感染症の状況に合わせてハイブリッド型（来場型とオンライン型）で開催を行った。

当日の記念講演では、ろう者で日本初のバスの運転手になった経緯や夢がかなうまでのことを話していただいた。小さいころからバスの運転手になりたかった、何社か受けましたが不採用になり、あきらめかけていた時に東京バス株式会社から再度面接したいとお話があり試験期間を経て、無事に採用になった。その後コミュニケーションをいろいろと工夫しながら業務をこなしている。ろうの後輩を増やしたいと思い会社に働きかけ、理解のある上司のおかげでその希望がかない徐々にろう者の運転手も増えてきていると話された。参加者からは「とてもいい内容だった」、「頑張っている姿に感動した」、「次に続く人たちのエールになればいい」という声が多数あった。

II ろうあ者と聞こえる人の交流の場となる「札幌ろうあ者文化祭典」

私たちろうあ者のコミュニケーションと文化の窓であり、ひいては社会的権利とも深い関わりを持つ「手話」を、福祉関係者・教育関係者・医療及び職場の方々など多勢の市民に理解していただき、お互いに自由に心を通わせることをめざして企画を立てた。

1. 文化祭典事業「第46回札幌ろうあ者文化祭典」

期日：2021年10月3日（日）

会場：札幌市身体障害者福祉センター

対象：聴覚障害者、手話サークル員、手話通訳関係者、手話を学ぶ市民等

新型コロナウイルス感染症がまだ収束せず支部や団体に開催に関わるアンケートを実施し、その結果に基づき2021年7月21日（水）に実行委員会で協議した結果、開催が困難であることから中止に決定した。

2. 全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」上映会

期日：2021年7月17日（土）

会場：道立道民活動センター[かでの2・7] かでのホール

参加人数：226人（大人 223人、学生 3人）

対象：聴覚障害者、手話サークル員、一般市民等

開催にあたって新型コロナウイルス感染症対策を行いながら上映会を行った。

映画について、聴覚障害だけではなく、障がいあるなし関係なく人の役に立てるのは生きていくのに大切で、主人公は聴覚に障がいがあっても前向きに生き、どんな状況でも笑顔を絶やさずに頑張っていく様子が描かれていた。また、家族とのかかわりの大切さを改めて気づかされる内容だった。

参加者から「勇気づけられた」「前向きな主人公の姿を見て自分も頑張りたい」「人にかける言葉を大事にしたい」「手話とかかわりのない人にも見てもらいたい」という声があった。

市民の皆様にも手話や耳が聞こえないということを広く知っていただける上映会を開催することができた。

Ⅲ 聴覚障害者に関する研修会等の開催

聴覚障害者の福祉増進のために必要な調査と研究を進め、聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進めるために研修会へ参加した。

1. 聴覚障害者の福祉増進に寄与する研修会、フォーラム等の開催参加

(1) 公益社団法人北海道ろうあ連盟道央ブロック研修会 (ハイブリット形式)

期日：2021年7月4日（日）

場所：①札幌会場（かでの2・7）・・・札幌、石狩、江別

②千歳会場（千歳）・・・・・・・・千歳、北広島

内容：「全国ろうあ者大会 評議員会の報告」

「運動の取り組み」など

派遣者：中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、野口和伸理事、越智誠理事、新田由香理事

(2) 2021年度公益社団法人北海道ろうあ連盟リーダー育成研修会への参加

期日：2021年11月6日（土）・7日（日）

場所：12カ所会場（オンライン）

札幌会場：道立道民活動センター（かでの2・7）

内容：1日目 組織部担当・事務局合同意見交換会

①「全日ろう連」（運動の動き）

2日目 ②「手話普及事業」の指導現状と課題

③「北ろう連」（運動の動き）&私たちの課題

派遣者：渋谷雄幸理事長、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、金原浩之理事、宮内博子理事、越智誠理事、福島太郎理事、佐藤尚行理事

(3) 2021年度 北海道ろうあ連盟スポーツリーダー育成 研修会

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟スポーツ委員会主催
期日：2022年1月16日（日）
場所：道立道民活動センター（かでの2・7）730研修室
内容：講演「デフリンピックとろう者スポーツについて」
講師：小椋 武夫 氏（一般財団法人全日本ろうあ連盟理事
スポーツ委員会委員長）
派遣者：越智誠理事

(4) 第24回ろうあ者労働問題フォーラムへの参加（主催：北ろう連）
期日：2021年10月24日（日）
場所：道立道民活動センター（かでの2・7）1040会議室
内容：「全国の聴覚障害者の就労の現状及び今後の取り組み課題について
～就労支援機関へのアクセス助成金をめぐる問題～」
講師：岩山 誠 氏
（一般財団法人全日本ろうあ連盟 福祉労働委員会 労働専門職）
派遣者：京野大樹常務理事兼事務局長、福島太郎理事、森恵子理事

(5) 第22回ろう教育フォーラムin北海道への参加
期日：2021年8月1日（日）
場所：札幌市教育文化会館 403研修室
内容：オンライン講演
「群馬のろう教育と手話言語条例の取り組み」
講師：堀米 泰晴 氏
（（一般）全日ろうあ連盟 教育・文化委員会副委員長・
関東ろう連盟 理事・（一般）群馬県聴覚障害者連盟 副理事長）
派遣者：渋谷雄幸理事長、中和彦副理事長、高嶋正博副理事長、
金原浩之理事、越智誠理事、泉隆行監事

2. 第14回札幌合同研修会（札幌協・札幌研）

(1) 第14回札幌合同研修会の開催（ハイブリッド形式）
札幌協・札幌研がともに研修会を開催し、共通する課題に取り組み、
今後の各団体の組織的活動に活かすことを目的として開催する。
期日：2021年11月28日（日）
会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター2F 大会議室
参加者：118名
内容：オンライン講演会
「優生保護法被害者とともに歩む兵庫の会-裁判と運動と私」
大矢 暹 氏（優生保護法被害者とともに歩む兵庫の会事務局員
社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会 理事長）

【組織部】

コロナ禍でもハイブリッド形式（対面・オンライン）での開催を試みた。
改善すべき点があったが、旧優生保護法の実態（不妊等の施術人数が全国
のうち北海道が最多）、地元でやるべきこと（優生保護法裁判の関係団体
との連携）が分かり、着実に取り組められるきっかけにもなった。来年度
以降もハイブリッド形式での開催を札幌研と検討していきたい。

IV 「H S K 札幌聴障（札幌聴覚障害者協会新聞）」の発行

「H S K 札幌聴障」の発行事業

聴覚障害者のため幅広く福祉を提供するとともに聴覚障害者に対する理解と啓発を促すため、機関紙「H S K 札幌聴障」を発行した。

期間：2021年4月～2022年3月（毎月1回発行・年間12回）

発行部数：700部

対象：札幌市内の聴覚障害者会員、賛助会員、購読会員、行政、関係機関等

2021年度発行内容：以下、1面見出し

4月号	コロナ禍における2020年度の活動について（前編） 各区支部や三部（高齢・女性・青年）に聞いてみました！
5月号	コロナ禍における2020年度の活動について（後編） 各区支部や三部（高齢・女性・青年）に聞いてみました！
6月号	聴覚障害者が安心してワクチン接種を受けるために 新型コロナワクチン接種に関する要望書を提出
7月号	公益社団法人札幌聴覚障害者協会第11回定時社員総会
8月号	全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」上映会開催
9月号	昨年に続き2年連続の中止！ 第55回全国ろうあ者体育大会に参加できず
10月号	2年ぶり！史上初のオンライン開催！ 第62回全道ろうあ者大会が開催！
11月号	緊急事態宣言、9月30日をもって解除される！ 久々の対面活動、始動！！
12月号	今回はオンライン併用でハイブリッド形式にて2年ぶりに開催 第14回札幌合同研修会開催！！
1月号	2022年新年のあいさつ
2月号	第44回耳の日市民のつどい案内
3月号	今年の全国ろうあ者体育大会は北海道！ 大会成功に向けて実行委員会で準備中！

【広報部】

- ・新年号を除き、毎号、札幌協事業に関する情報を掲載した。随時、札幌聴覚障害者協会各区支部、専門部等の社会生活教室の呼びかけや報告を掲載した。
- ・新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識や情報を掲載し、配信をした。
- ・支部に対して対面活動に関するアンケートと会員に対して電話リレーサービスの利用に関するアンケートを実施して掲載した。
- ・購読会員に対して購読料振込についての記事を掲載し、締切を明記した。

V インターネットでの各種情報の提供

情報を随時更新して聴覚障害者への理解を深め、札幌協の事業を広める啓発活動を独自に制作した内容でインターネットにより進めた。

1. ホームページ「公益社団法人札幌聴覚障害者協会」

引き続きワードプレス（ブログ投稿用ソフト）を活用して更新した。

行事のアピールの際はスライド画像やバナー画像を作成し、トップページに掲載した。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、トップページにYouTubeによる手話動画「新型コロナウイルスワクチン接種の予約について」等をホームページで見られるように掲載した。

様々な事業所のPR、または出版やほほえみのお菓子等のPRも掲載した。また、手話普及のSNS発信や他事業のSNSリンクの貼り付けを行い、幅広く市民の皆さんに発信を行った。

2. 札幌協情報メール

メール配信希望の会員に対し、情報提供のメールを随時発信した。

今年度も特にコロナに関する市長会見の手話動画が多い。

2021年度発信数：No. 961～1085 125件

※登録者数：正会員 97名・賛助会員 27名

【収益等事業】

【収1】出版事業

1. 出版事業

手話を学ぶために必要な書籍や聴覚障害に関する書籍を販売した。

※下記に特に売り上げの多かった書籍を掲載。（2021年度売上状況）

書籍名	発行者	販売数
I 小売販売		496冊
1) 全日本ろうあ連盟発行書籍		287冊
① 手話を学ぼう 手話で話そう（入門・基礎・手話通訳）		226冊
② 新しい手話（2020年・2021年）		13冊
③ 講義テキスト（新）		28冊
④ わたしたちの手話辞典Ⅰ・Ⅱ		20冊
2) 北海道ろうあ連盟発行書籍		190冊
① 2022年手話カレンダー 大		80枚
② 2022年手話カレンダー 小		108枚
③ 北海道の手話		2冊
3) その他団体等発行書籍		19冊
① 手話・言語・コミュニケーションNo.8・9	全国手話研修センター	19冊
II 札幌聴覚障害者協会制作販売		666冊
さっぽろの手話（三訂）		650冊
さっぽろの手話（医療編）		8冊
さっぽろの手話（販売・接客編）		8冊

今年もメインの行事がすべて中止になり売り上げも横ばい状態。さっぽろの手話に関する講習会がオンラインになったことや、専門学校生も依然と比べると生徒数の減少で注文も減ってきている状態。

2. 2021年度出版物対策研究会議・第32回全国専従職員研修会

コロナ禍のため中止。

【収2】飲料自販手数料事業

1. 飲料自動販売手数料事業

公共施設等に飲料自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を図るとともに、その手数料を得る事業を行なった。管理及び補充作業は清涼飲料水販売業者に委託した。

自動販売機設置個所は31ヶ所。(2021年度)

	設置先	区	飲料会社		設置先	区	飲料会社
1	市身体障害者福祉センター	西	キリン・大沼・PS・ココロ	17	栄地区センター	東	キリン
2	北区体育館	北	PS	18	厚別南地区センター	厚別	大沼
3	東区体育館	東	大沼	19	手稲曙温水プール	手稲	キリン
4	豊平区体育館	豊平	大沼	20	もいわ地区センター	南	大沼
5	南区体育館	南	大沼	21	白石東地区センター	白石	大沼
6	西区体育館	西	キリン	22	星置地区センター	手稲	大沼
7	清田区民センター	清田	キリン	23	白石区複合庁舎	白石	キリン
8	手稲コミュニティセンター	手稲	キリン	24	清田区体育館・プール	清田	大沼
9	市社会福祉総合センター	中央	キリン(3カ所)	25	清田区役所	清田	キリン
10	手稲区役所	手稲	キリン	26	札幌市下水道河川局	豊平	大沼
11	厚別区役所	厚別	大沼	27	中島体育センター	豊平	キリン
12	平岸プール	豊平	キリン(2カ所)	28	すみかわ地区センター	南	PS
13	中央図書館	中央	キリン	29	手稲区民センター	手稲	キリン
14	西野地区センター	西	キリン	30	スポーツ交流施設(つどむ)	東	サントリー
15	中央健康づくりセンター	中央	大沼	31	札幌市視聴覚障がい者情報センター	中央	キリン・大沼
16	はっさむ地区センター	西	キリン				

※キリン=キリンビバレッジ、コーラ=ココロ、

PS=PSビバレッジ、サントリー=サントリービバレッジソリューション

2021年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けて設置していただいている施設が休館になった期間はあるが、売上は昨年と比較してもほぼ横ば

い状況です。また売上が下がっている影響で設置継続が困難になりジャパンビバレッジ→大沼に変更している施設が多数あります。

【収3】 さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業

I デイサービスほほえみ白石

- ①地域密着型通所介護 及び 第1号通所事業
(介護保険指定事業 及び 札幌市介護予防・日常生活総合支援事業)

※指定開始日 2020年6月1日・2020年5月1日

- ②共生型生活介護 (障害者総合支援法)

※指定開始日 2020年4月1日

期間：2021年4月～2022年3月 (年間)

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

1. 事業内容

利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、手話でのコミュニケーションを保障しながら利用者の立場に立ったサービスを実施する。利用者の心身機能の維持向上や社会的孤立感の解消並びに家族の身体的、精神的介護負の軽減を図り、利用者の住み慣れた地域での在宅生活を支援した。

(1) 地域密着型通所介及び第1号通所介護

要介護・要支援状態にある人が、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、デイサービスに通い、健康チェックや機能訓練、入浴、レクリエーション等の支援を行った。

(2) 共生型生活介護

障害がある人が自立した日常生活または社会生活を送ることができるよう、デイサービスに通い、食事や入浴、レクリエーションの他、身体機能や生活能力の維持向上のための訓練、創作活動等の支援を行った。

【2021年度 登録者の推移・通所回数内訳】

月	登録者数			通所サービス利用延べ回数			
	新規	終了	合計	介護保険		障害福祉	合計
				通所介護	総合事業	生活介護	
4月	1	1	17	40	40	19	99
5月	0	0	17	32	35	16	83
6月	0	0	17	41	38	22	101
7月	0	0	17	38	40	20	98
8月	0	0	17	37	32	22	91
9月	1	0	18	36	42	20	98
10月	1	0	19	37	43	20	100
11月	0	0	19	40	46	22	108
12月	2	0	21	47	53	22	122
1月	1	0	22	43	50	22	115
2月	1	0	23	35	35	18	88
3月	0	0	23	54	62	22	138
計	7	1	23	480	516	245	1241

2. 利用者の状況

【居住区別】

住居区 (人)	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
	2	5	3	4	0	6	1	0	1	1	23

【要介護度・障害区分別】

要介護度 (人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	9	3	7	1	0	0	0	
障害区分 (人)	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
	0	1	0	1	0	1	0	

【性別・年齢別】

年代 (人)	60代	70代	80代	90代	平均	66歳～ 95歳	男	女
	1	11	9	2	79歳			

3. デイサービスほほえみ白石運営推進会議

期間：2021年4月～2022年3月（年間2回開催）

会場：デイサービスほほえみ白石

構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・ほほえみ白石職員

月日	実施事業名等	内容概要
9月 14日	第1回運営推進会議	【書面会議】 事業・活動報告、ヒヤリハット事故報告
2月 8日	第2回運営推進会議	【書面会議】 事業・行事報告、ヒヤリハット事故報告 新型コロナウイルス感染症対策報告

4. 研修受講

職員の資質向上のため、各種研修に参加及び自主開催し、研鑽に努めた。

	月 日	内 容	受講者数
外部	7月6日	認知症介護基礎研修	1
内部	5月18日	①口腔ケア ②認知症カフェの役割	5
	5月25日	ほほえみ手稲職員研修「自己覚知」	3
	6月15日	①熱中症予防 ②フレイル予防	5
	9月7日	ほほえみ手稲職員研修「コミュニケーションスキル向上」	3
	9月21日	法令遵守（介護保険サービスと保険外サービス）	5
	10月20日	虐待防止・身体拘束	5
	11月16日	法令遵守（実地指導と介護サービス情報公表）	5
	12月14日	メンタルヘルス研修	3
	12月18日	札幌協職員研修「なんのために どのように働くか」 ～京都法人実践報告から～	4
	12月23日	ノロウイルス感染対策	5
	2月18日	腰痛予防講習	4

5. 行事等企画

利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。

※他=家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

月 日	内 容	場 所	参加	内 訳		
				利用	職員	他
4月7日	郷とオンライン交流	デイルーム	11	6	5	0
4月9日	外出レク	JR 苗穂駅	7	3	4	0
4月15～16日	ミニ講座「水を飲もう」	デイルーム	12	8	4	0
5月12.14.17日	ミニ講座「コロナワクチン接種」	デイルーム	23	18	5	0
5月12日	郷とオンライン交流	デイルーム	11	6	5	0
5月13～14日	お花見	豊平桜の杜	13	9	4	0
5月27～28日	ミニ講座「口のはたらき」	デイルーム	9	6	3	0
6月18日	郷とオンライン交流	デイルーム	11	6	5	0
6月21～23日	外出レク	川下公園	13	10	3	0
6月24～25日	ミニ講座「熱中症予防」	デイルーム	11	7	4	0
7月27～28日	防災学習	デイルーム	16	11	5	0
7月29～30日	カフェ食事会	ほほえみカフェ	16	10	5	1
8月5～6日	ミニ講座「薬の飲み方」	デイルーム	14	9	5	0
8月10～12日	納涼祭	デイルーム	22	16	5	1
8月20日	郷とオンライン交流	デイルーム	10	5	5	0
9月9～10日	ミニ講座「転倒・骨折予防」	デイルーム	9	9	5	0
9月21～22日	敬老会	デイルーム	18	13	5	0
10月1日	外出レク	札幌村郷土記念館	5	2	3	0
10月7.8日	ミニ講座「手洗いについて」	デイルーム	12	8	4	0
10月14日	外食レク	ほほえみ食堂	6	2	4	0
10月19.20.26日	おやつレク	デイルーム	23	18	5	0
10月26日	防災訓練	デイルーム	11	6	5	0
10月29日	郷とオンライン交流	デイルーム	9	5	4	0
11月2.5日	外出レク「イチョウ並木」	北海道大学	16	11	4	1
11月4日	外出レク	旧永山武四郎邸	6	3	3	0
11月8日	料理レク	デイルーム	10	6	4	0
11月11日	外出レク	白石複合庁舎	5	3	2	0
11月24日	ふまねっと運動	デイルーム	10	6	4	0
11月25日	カフェ食事会	ほほえみカフェ	4	2	2	0
11月29.30日	ミニ講座「血圧と脈って何？」	デイルーム	18	11	5	2
12月7.10日	ミニ講座 「ロコモ体操って何？」	デイルーム	19	13	5	1
12月8日	ふまねっと運動	デイルーム	11	7	4	0
12月15.17日	外出レク	サッポロファクトリー	8	5	3	0
12月22～24日	クリスマス会	デイルーム	22	17	5	0
12月27.28日	食事会	デイルーム	19	14	5	0

1月4～6日	新年会	デイルーム	20	15	5	0
1月11日	ボランティア慰問 「ハンドトリートメント体験」	デイルーム	15	9	4	2
1月25～27日	ミニ講座 「ヒートショックって何？」	デイルーム	22	17	5	0
3月1～4日	ひなまつり	デイルーム	25	18	5	3
3月17～18日	ミニ講座「119番FAX」 「笑いヨガ」	デイルーム	17	11	5	1

6. 職員等体制（2022年3月31日現在） 計5名

常 勤 3名	管理者兼生活相談員 1名 生活相談員兼介護職員 1名 介護職員 1名
非常勤 2名	看護職員 1名 介護職員 1名

7. 利用料の追加項目『送迎交通費』（2021年5月1日施行）

燃料費の高騰に伴い、デイサービスへの送迎に係るガソリン代として送迎交通費を、利用者及び家族の理解を得て負担していただいた。

対象者：サービス提供実施区域「白石区」外に住んでいる利用者

料金：実施区域を超えた地点から（片道）
 ・5km未満 75円
 ・5km以上10km未満 100円
 ・10km以上 125円

8. 今年度の成果・反省

- (1) デイサービス再開2年目。新型コロナウイルス感染の予防対策を講じながら、活動内容の充実化を図った。3密にならずに交流ができるゲームやDVD鑑賞、創作活動。その他、月1回の看護職員による『ミニ講座』で、健康と暮らしに大切な情報提供を行った。今後も状況に合わせて内容を工夫していく。
- (2) 手話の習得が不十分な中途失聴・難聴者のデイサービス利用相談が増えている。手話以外の筆談や補聴器、触手話など個々に合わせた情報保障を図りながら、コミュニケーションの不安なく安心して過ごせる方法を確立させていくことが必要である。
- (3) 身体介助に加えて、盲ろうなどの重複障害や認知症などの病状に合わせた支援が必要な利用者が増加しているが、職員の増員が図れないことにより、個々の利用者とのコミュニケーションを十分にとれず、また、情報保障も十分に行えなくなる懸念がある。
- (4) IT機器等を活用した業務の効率化、厨房アルバイトやボランティアの協力を得て、常態化している残業や休憩時間が取りにくいといった職員の業務負担を改善するための取組を続けながら運営維持を図っていく。
- (5) 昨年同様、コロナ禍のデイサービス利用自粛やケガ、入院等を理由に休みが続いた利用者もおり、運営は厳しい状況が続いている。引き続き、他機関との関係作りや情報収集に取り組む。

II サービス付き高齢者向け住宅事業

高齢の聴覚障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、聴覚障害者向けの設備を完備し、コミュニケーションの配慮が行き届く住宅を開設し、管理・運営を行った。

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷

登録番号：札一16第12号（2016年8月19日登録）

期 日：2021年4月～2022年3月

場 所：札幌市手稲区稲穂2条7丁目5-7

介護事業：小規模多機能型居宅介護事業所併設

提供サービス：安否確認、生活相談、食事提供

1. 入居状況（2022年3月31日現在） 定員：20戸／24名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当月入居数(人)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
当月退去数(人)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
入居戸数計(戸)	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19
入居者数計(人)	23	23	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22

2. 入居者状況（2022年3月31日現在）

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	67歳～ 93歳	男	女
人数	1	3	11	7	85.0歳			10

【要介護度別】 *平均要介護度：要介護1.18

要介護度(人)	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	2	3	3	4	5	2	2	1	22

【夫婦等世帯数】

夫婦世帯	5世帯	単身世帯	12世帯
------	-----	------	------

3. 職員等体制（2022年3月31日現在） 計17名

常勤兼務 5名	所長 兼 生活相談員 1名 生活支援員 4名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
非常勤兼務 3名	生活支援員 3名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
アルバイト 9名	食事準備・片付 8名 清掃 2名（うち1名、食事準備・片付と兼務）

4. 点検、修理、工事、防災対策等について

(1) 8月と2022年3月に消防訓練および消防設備点検、4月に防火対象物点検を行った。高齢化や体力低下により、自力で避難できる入居者は少ない。避難よりも、まずは火事を起こさない、起きても広げないという考え方のも

と、居室内の点検や学習の機会を継続して設ける。

- (2) 開設から5年が経過し軽微な修繕や、居室退去時の原状回復工事などで、費用がかかるようになってきた。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対応支援金により物置を増設したことにより、非常食等の備蓄品の保管場所の課題が解決。水や非常食、暖房器具等、最低限必要な物から備蓄を進めている。

5. 今年度の成果・反省

- (1) コロナ禍が続き、入居者も職員も緊張が続く一年となった。入居者のワクチン接種は、一回目および二回目は各かかりつけ医を中心に個別に予約をとったため対応が大変であったが、追加接種は札幌市の巡回接種を活用し、施設内で集団接種を行ったため、スムーズに進んだ。職員のワクチン接種は副反応を考慮した勤務調整が必要なため、個々での予約、接種を主として進めた。
- (2) 入居者の加齢による体力的な落ち込みや疾病の重度化が顕著に見られる。受診対応や医療的ケアのニーズも増しており、訪問診療への切り替えや訪問看護サービスを個別に契約するなど、医療専門職との連携強化に努めた。
- (3) 24時間365日の介護事業所が併設されていても、「自宅」での生活と大きく変わらない。居室内での転倒等はあるし、職員の対応にも限界がある。制度上の理解も入居者本人や家族等に促す必要がある。その上で、本人や家族が望む生活を可能な範囲で支援できるよう、職員確保やスキルアップに努めたい。
- (4) 近隣地域との関わりについて、コロナ禍もあり連携強化にはあまり取り組めなかった。継続課題として、地域とのネットワークづくりに努めたい。

Ⅲ 小規模多機能型居宅介護事業

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷に併設し、介護の支援が必要な入居者及び近隣地域の住民に対し、サービスを提供した。

小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲（事業所番号 0190400697）

指定開始日：2017年4月1日（指定通知書発行日：2017年3月27日）

事業：地域密着型小規模多機能型居宅介護及び
介護予防小規模多機能型居宅介護

場所：手稲区稲穂2条7丁目5-7

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷 1階

面積：100.40㎡

定員：登録24名、通い12名、泊り4名

1. 登録状況について

【登録状況の推移】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数(人)	19	19	19	20	20	20	20	20	19	19	20	21
登録率 (%)	79.2	79.2	79.2	83.3	83.3	83.3	83.3	83.3	79.2	79.2	83.3	87.5

新規	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
再開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終了	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

【登録終了者の状況等】（2022年3月31日現在）

区分	施設入所	入院	その他	計
人数（人）	0	1	0	1

2. 登録者の状況（2022年3月31日現在）

【住居区別】

住居区	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
（人）	0	0	0	0	20	0	0	0	0	1	21

【要介護度別】＊平均要介護度：要介護1.91

要介護度（人）	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	3	3	4	6	2	2	1	21

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	67歳～	男	女
人数	1	4	10	6	84.8歳	93歳	8	13

3. サービス提供状況について

【サービス利用延べ回数及び一人当たりの月平均利用回数】

	通い	訪問	宿泊	延回数	月平均回数
4月	485	1408	8	1901	63.4
5月	443	1580	0	2023	65.3
6月	483	1496	0	1979	66.0
7月	464	1563	0	2027	65.4
8月	423	1657	0	2080	67.1
9月	384	1571	0	1955	65.2
10月	424	1581	0	2005	64.7
11月	405	1533	0	1938	64.6
12月	389	1522	0	1911	61.6
1月	251	1862	0	2113	68.2
2月	312	1889	0	2201	78.6
3月	407	2102	0	2509	80.9
計	4870	19764	8	24642	67.5

※月平均回数＝サービス提供延べ回数÷（当月日数×登録者数）×7

※月一人当たり平均利用回数は、週4日以上のみ

4. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護 (短期利用型)

利用者の状態や家族等の事情により緊急に利用することが必要であると認め、登録定員の範囲内であり、サービス提供に支障がない場合、空いている宿泊室等を利用し、短期間のサービスを提供するものである。

今年度は利用がなかった。

5. 自家用有償旅客運送 (福祉有償運送)

小規模多機能型居宅介護の登録者を会員とし、設定した料金において、車で数分の距離にある医療機関等へ個別輸送を行なった。

期間：2021年4月～2022年3月

対象：小規模多機能型居宅介護の登録者

体調、ケガ、筋力低下等による歩行困難などで、外出時に介助を要する人

料金：

距離	料金	備考
1km未満	100円	近隣の医療機関・店舗
1km～2km未満	300円	
2kmから500m毎	プラス50円	

【稼働状況】

	回数	距離 (km)	目的		
			受診	買い物	その他
4月	6	116.8	7	0	0
5月	3	67.7	3	0	0
6月	9	55.2	9	0	0
7月	8	41.0	8	0	0
8月	6	80.3	6	0	0
9月	5	70.3	5	0	0
10月	6	51.0	6	0	0
11月	5	69.9	4	0	1
12月	2	27.5	2	0	0
1月	5	42.4	5	0	0
2月	7	114.0	7	0	0
3月	3	15.3	3	0	0
計	65	751.4	65	0	1

6. 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲運営推進会議

期間：2021年4月～2022年3月 (年間6回開催予定)

会場：ほほえみの郷1階 居間・食堂

構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・手稲区支部・

手稲区手話サークル・ほほえみの郷職員・ほほえみ手稲職員

月日	実施事業名等	内容概要
5月20日	第1回運営推進会議	新型コロナウイルスの為、中止

7月14日	第2回運営推進会議	事業報告・自己紹介・新型コロナウイルスへの対策説明・意見交換
9月4日	第3回運営推進会議	事業報告・コロナ禍における取り組み・意見交換
11月23日	第4回運営推進会議	事業報告・コロナ禍における取り組み・意見交換
1月19日	第5回運営推進会議	新型コロナウイルス発生の為、中止
3月23日	第6回運営推進会議	まん延防止措置発令の為、中止

※年6回開催、奇数月に開催

7. 研修受講

新型コロナウイルスの影響により、外部研修が激減してしまった。

	月 日	内 容	受講者数
内部	9月7日	コミュニケーションの上達を目指して	8
	9月23日		
	12月18日	札幌協職員研修「なんのために どのように働くか」 ～京都法人実践報告から～	10
外部	10月19・20日 26日～28日	認知症介護実践者研修	1
	12月14日	メンタルヘルス	8
	1月21日	介護職のための医学の基礎知識	2
	2月18日	腰痛予防	6

8. 行事等企画（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）

入居者、利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。
新型コロナウイルス感染予防に留意して行った。

※他=家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

月日	内容	場所	参加	内訳			
				手稲	郷	職員	他
4月13日	料理レク	ほほえみ手稲	11	7	—	3	1
	4周年記念交流会	ほほえみの郷	25	14	3	7	1
5月7日	お花見ドライブ	銭函	7	5	—	2	0
5月25日	カーリンコン大会	ほほえみの郷	25	15	3	7	0
6月25日	料理レク	ほほえみ手稲	12	6	—	5	1
6月29日	ふまねっと	ほほえみの郷	15	10	2	3	0
7月20日	外食レク①	ほほえみカフェ	15	7	2	6	0
7月21日	外食レク②	ほほえみカフェ	10	6	1	3	0
8月3日	ふまねっと	ほほえみの郷	12	8	1	3	0
8月6日	消防訓練	ほほえみの郷	24	15	3	6	0
8月17日	納涼祭	ほほえみの郷	35	18	4	10	3
9月7日	カーリンコン大会	ほほえみの郷	19	13	2	4	0
9月22日	敬老会	ほほえみの郷	30	17	4	9	0
10月22日	入居者会議	ほほえみの郷	20	(1)	14	5	0

	茶話会	ほほえみの郷					
11月9日	ふまねっと	ほほえみの郷	12	8	1	3	0
11月26日	カーリンコン大会	ほほえみの郷	15	10	1	3	1
11月30日	料理レク	ほほえみ手稲	17	10	—	6	1
12月24日	クリスマス会	ほほえみの郷	29	13	3	10	3
12月28日	餅つき	ほほえみ手稲	10	5	—	5	0
1月1日	新年会	ほほえみの郷	15	8	1	5	1
3月8日	春祭り	ほほえみの郷	30	18	3	8	1
3月30日	消防訓練	ほほえみの郷	27	17	3	5	2

9. 職員体制（2022年3月31日現在） 計11名

常勤 8名	管理者 兼 介護職員 1名 看護職員 1名 計画作成担当者 1名 介護職員 5名（いずれもほほえみの郷生活支援員と兼務）
非常勤 3名	介護職員 3名（いずれもほほえみの郷生活支援員と兼務）

10. 今年度の成果・反省

- (1) 1月～2月にかけて、施設内で職員1名、利用者1名の新型コロナウイルス罹患が発生。シフト調整、夜間体制などに苦慮した。一番困難だったのが、ゾーニング（汚染エリアと清潔エリアの区分け）であった。幸いにも保健所の迅速な対応により、医師・看護師の指導を現地で受けることができた。新型コロナウイルスに限らず、他の流行病でもゾーニングが必要になる場面は想定されるので、今回の事例を参考にして対策等に努めたい。
- (2) 開所から5年の経過に伴い、利用者の加齢とともに職員も同様に年を重ねていく。フレッシュな人力でないことは共通の課題である。新規職員の採用も進まない中、マンパワーの確保、職員の新陳代謝に関わる問題は、次年度以降も引き続きの課題である。
- (3) 利用者の高齢化・介護度の重度化に伴い、職員のスキルアップに努めていかなければならない。昨年度は開催が少なかった外部研修も少しずつ再開されている。適切な研修を受講することで、スキルアップを図ってきたい。
- (4) コロナ禍で地域との関わりが希薄となってしまった。運営推進会議も施設内での新型コロナウイルス発生や会議自体の特性・開催場所などを考慮して中止にせざるを得ない状態が続いた。
- (5) Facebookの運用が始まり、それがきっかけとなって花束作成の依頼があった。SNSなどの活用で思わぬところから、施設の周知に繋がることを実感した。次年度以降も積極的に更新活動をして、施設周知に努めたい。

IV 介護支援センター共通

1. 職員の資格保有状況（2022年3月31日現在）

	介護支援専門員	介護福祉士	ヘルパー2級等	正看護師	無資格
常勤	2	6	4	1	0
非常勤	0	1	3	1	0
計	2	7	7	2	0

2. 広報

- ①毎月発行するH S K札幌紙へ活動状況を掲載、発信した。(計11回)
- ②各事業所合同の機関紙「さっぽろ聴覚障害者介護支援センター通信」を発行し、関係者に配布し情報発信を行なった。(計4回)
- ③ほほえみの郷・ほほえみ手稲に加え、ほほえみ白石もFacebook(フェイスブック)ページを開設し、日頃の情報配信に努めている。

3. その他

- ①職員の健康診断と特定診断を予定通り行なった。(年1回)
- ②新型コロナウイルス感染症について、各事業所において可能な範囲の対策を続けた。
- ③新型コロナウイルス感染症に関わる様々な補助制度を適宜申請し、かかりまし費用の補填に努めている。

VI さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2021年4月～2022年3月(年間3回開催)

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	出席	回	月日	出席
1	2021年5月28日(金)	中止	2	2021年10月22日(金)	8名
3	2022年1月21日(金)	中止			

時間：19：00～20：45

委員名簿：

札幌手話サークル連絡協議会：鍛冶由佳子氏、久保田昭人氏

札幌手話通訳問題研究会：近間諒一氏、宮本ゆかり氏

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：田村玲子氏、
三澤美紀子氏

(公社)札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長、森恵子理事

担当職員：樋口あやこセンター長兼サ高住ほほえみの郷所長

有山将大小多機ほほえみ手稲所長

中村千恵デイサービスほほえみ白石所長

内容：センター事業(デイサービス、サ高住、小規模多機能型居宅介護)の現況報告および意見交換を行った。

※新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の期間中であったことや、事業所内での新型コロナ発生により、2回が中止となった。

【他1】相互扶助事業

I 支部・青年部・女性部・高齢部等における各種行事の実施

1. 支部事業

(1) 専門部会議での会計部、組織部、情報・コミュニケーション部会議

開催：毎月第1火曜日19：00～20：30

(※コロナ感染対策のためオンライン会議を3回実施)

月1回のうち実施した会議7回（5月、8月、1月は休み）

会場：市視聴覚障がい者情報センターまたは自宅

回	月 日	回	月 日
1	2021年4月6日	5	12月7日
2※	9月7日	6※	2022年2月1日
3	10月5日	7※	3月1日
4	11月2日		

① 札幌聴覚障害者協会会員数

	2021年4月1日	2022年3月31日	増減	備 考
正会員	395	384名	-11	入会10名・退会21名 ※退会理由：市外転出、自己都合ほか
賛助	67名	76名	9	

② 区別会員数

(単位:名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外	計
正	16	80	75	44	28	27	13	14	46	41		384
賛助	7	14	4	3	2	2	1	2	8	8	25	76

③年代・性別別会員数(正会員)

(単位:名)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
男性	0	8	16	21	32	57	62	20	1	217
女性	0	7	14	19	31	40	40	13	3	167

④HSK札幌聴障購読者数(有料購読者)

	2020年3月31日	2021年3月31日	2022年3月31日	増減
市内	81名	92名	108名	+16
市外	36名	40名	25名	-15
道外	1名	1名	7名	+6
合計	118名	133名	140名	+7

⑤日本聴力障害新聞購読者数(札幌市内)

2020年3月31日	2021年3月31日	2021年3月31日	増減	※札幌協事務局での 新規購読 申込受付数:3名
234名	218名	204名	-14	

⑥季刊MIMI購読者数

2020年度	2021年度	増減
32名	31名	-1

【組織部】

専門部会議について

コロナ禍で中止するよりオンラインでの開催を初めて試みた。全区一斉までにはいかないが、不参加区は無し。オンラインに切り替えられる体制は整ったため、基本は対面で参集しながら、状況に応じて安心、安全を確保できるようにして参りたい。専門部会議では、札幌協からの情報提供、全国手話研修センター後援会員拡大等の意見交換をした。活動制限の中、会員・読者拡大取り組みは厳しいが、メールやビデオ電話で会員のニーズを把握しながらいつでも拡大に取り組みられるように備えていく。

- (2) 区支部（中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲）
が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

各区支部事業報告

区支部	行事事業名				
中央	12月4日 クラフトバンド講習会 忘年会は中止				
北	9月 焼肉交流会(中止)		10月手話サークルと 研修交流会(中止)		1月 新年会(中止)
東	6月パークゴルフ& 野外交流会 中止	7月元町 夏祭り 中止	9月フロアカーリング 交流会中止	11月 東区 手話まつり 中止	12月 合同 クリスマス会 中止
白石	9月 秋の交流会 中止		12月 手話サークル&合同忘年会 中止		
厚別	コロナ禍のため、行事は行っていません				
豊平	12月 ボウル&忘年会 中止				
清田	12月 忘年会 中止				
南	クリスマスバザー、忘年会、お茶の会の企画は 中止			12月サークルとの交流会	
西	コロナ禍のため行事实施不可				
手稲	6月 野外交流会 中止	9月19・20日 手稲神社祭 中止		10月 ボウリング 交流会 中止	12月 忘年会 中止

2. 青年部、女性部、高齢部等の各部が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

(1) 青年部事業

①青年部事業報告

日程	行事名	参加人数
----	-----	------

2021年6月23日	ダベリ場 「オンライントーク～子育てと青年部活動～」	30名
2021年9月11日	ダベリ場 「オンラインで晩酌トーク」	28名
2021年12月19日	クリスマス特別企画 「異言語labo (ラボ) による脱出ゲーム」	32名
2022年2月6日	ダベリ場「SilentVoice協力企画 ジェスチャーで泥棒ゲーム」	まん延 防止措置 より延期
2022年3月21日	定期総会	

②青年部会議：年11回開催 会場：市社会福祉総合センター
(そのうち、6回はオンラインで実施しました。)

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策に注意しながら、対面企画を2回計画していました。残念ながら2月の企画はまん延防止措置期間中に伴い、次年度に延期することになりました。他、オンラインでダベリ場を2回実施することが出来ました。次年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症に応じた新しい生活スタイルを意識した新しい人材啓発・積極的な周知を努めたいところです。

(2) 女性部事業

①女性部事業報告

日程	行事名	参加人数
2021年8月26日	第34回がん検診 (がん検診センター)	3名
11月3日	報告会	中止
	三部交流会	中止
2022年2月6日	第11回定期総会	15名

②女性部会議：4回開催 (内オンライン会議1回)
会場：市視聴覚障がい者情報センター

③社会生活教室：1回「110番アプリシステムの登録をしよう」
コロナ禍のため中止

④機関誌：年2回発行

会議開催を年4回行うことができました。オンラインでの会議よりも意見がまとまるとのことで対面会議を多く取り入れました。

2年ぶりのがん検診も再開しました。自身の健康管理を再確認することができますので、がん検診だけではなく年に1度の健康診断をお勧めします。

(3) 高齢部事業

①高齢部事業報告

日程	事業名	参加人数
9月	パークゴルフ交流会	中止
7月	社会見学会	中止

年6回	役員会	平均6名
毎月木曜日	老人クラブ クラブ創立40周年事業	平均25名～30名

コロナ禍により、事業中止を余儀なくされたのは残念です。新年度から、三部交流会には参加しない。理由は開催の意義が薄くなっている。あらたに、事業実施にあたって運動方針をおき、高齢者をめぐる社会環境の変化に対応できるようにするため。

3. 会員慶弔福利制度事業

①会員に慶弔がある時は、会員からの申請に基づき随時手続き処理をした。

＜2021年度手続き件数＞

(単位：件)

①結婚祝金	0	⑤銀婚祝金	0
②入学祝金	0	⑥入院見舞金	0
③長寿祝金	15	⑦災害見舞金	0
④銅婚祝金	1	⑧死亡弔慰金	1
		合計	17

③ 会員ポイント制度

2021年度はコロナ禍により行事などがほぼ中止になったため、有効期間を1年分延ばした。

4. 新年交礼会事業

新年も引き続き協力しながら聴覚障害者の福祉向上の実現に向け、心新たに活動を続けようと親睦と交流をかねて、「2022年新年交礼会」を2022年1月8日（土）開催予定だったが、コロナ禍により中止。

II 聴覚障害者が参加する各種クラブ活動への助成等

1. 活動助成事業（文化系・スポーツ系・福祉系他）

以下のクラブに対し、活動助成金を支給した。

クラブ名	内容	代表者	会員数
＜文化系＞ 1クラブ			
デフフォトクラブ	写真	河村 明子	13名
＜スポーツ系＞ 7クラブ			
S.R.B.C(札幌ろうあボウリングクラブ)	ボウリング	池 正直	18名
サッポロデフバドミントンクラブ	バドミントン	佐藤 裕介	28名
札幌ろうパークゴルフクラブ	パークゴルフ	菊地 恒雄	18名
札幌デフソフトバレーボールクラブ	ソフトバレーボール	菅井 祐哉	14名
札幌ろうあ者フロアカーリングクラブ	フロアカーリング	水除 弘子	17名
札幌デフ・カーリングクラブ	カーリング	一色 秀和	10名
北海道デフファイターズ	ソフトボール	森 良太	24名
＜性別・年齢別系＞ 1クラブ			

札幌ろうあ老人クラブ	老人親睦	守屋 弘之	66名
<福祉系> 1クラブ			
とも	高齢ろうあ者・重複障害者支援	伊勢谷小枝子	41名

※札幌デフ麻雀倶楽部（代表者：太田孝治）は助成金の申請を辞退。

2. 札幌市視聴覚障がい者文化・スポーツクラブ等助成金交付事業（札幌市）

視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内において当該障がい者が自主的に運営する非営利の文化、スポーツクラブ、サークル団体の活動に要する経費の一部を助成するものであり、クラブ代表者会議第9回定例総会において交付対象のクラブを決定した。

（年間3クラブ）

2021年度助成金交付クラブ：パークゴルフ
 北海道デフファイターズ
 デフフォトクラブ

3. スポーツ大会開催事業・選手派遣等

- （1）全道ろうあ者夏季体育大会への競技団体参加費助成事業
 「第54回全道ろうあ者夏季体育大会 in 帯広」
 コロナ禍により中止のため、なし
- （2）全国ろうあ者体育大会への選手派遣事業
 「第55回全国ろうあ者体育大会 in 兵庫」
 コロナ禍により中止のため、なし
- （3）全国ろうあ者冬季体育大会への選手派遣事業
 「第44回全国ろうあ者体育大会」（福井県）
 コロナ禍により中止のため、なし

4. 全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会への選手派遣補助金事業

なし

5. クラブ代表者会議及び運営会議

期間：2021年4月～2022年3月（年6回会議開催）
 会場：市体障害者福祉センターなど
 対象：文化・スポーツクラブの代表者及び担当

（1）クラブ代表者会議

回	日程・時間	主な内容	クラブ出席
1	2021年4月2日（金）	定期総会	10クラブ
2	2021年7月16日（金）	クラブ助成金申請書提出 各クラブより報告など	8クラブ
3	2022年1月21日（金）	クラブ助成金支給、事業報告 各クラブより報告	8クラブ

(2) 運営会議

回	日程・時間	主な内容	出席人数
1	2021年6月4日(金)		コロナ禍の為中止
2	2021年12月3日(金) メールによる会議	各事業報告	5名
3	2022年3月25日(金) 19:00~20:30	総会の準備、会計について	5名

(3) クラブ代表者会議加入クラブ (2022年3月31日現在)

- ①文化系4クラブ (内2クラブ休部：札幌聾史研究会、
札幌ろうあ劇団舞夢)
- ②スポーツ系9クラブ (内2クラブ休部：男子バレーボールクラブ、
札幌デフフットボールクラブ)

【クラブ支援部】

1. 少子高齢化が進む中、会員数が減少している状況があることから休部になるクラブが目立ってきている。
2. 劇団舞夢の部員が減少したため、クラブ支援部運営委員会規定に従って休部届を受理した。残った部員4人は、引き続き活動していくと報告があった。
3. コロナ禍の影響で全国、全道各体育大会中止のため、2021年度分担金は徴収しない。
4. 一部のクラブはソーシャルディスタンス等の感染対策に留意しながら活動を実施している。
5. スポーツ選手引退を理由とした協会会員の退会がないように働きかけていきたい。

Ⅲ 国際友好交流事業の実施

1. 中国瀋陽市聾人協会との友好交流行事の実施
コロナ禍のため、中止。
2. 韓国ろうあ者協会大田広域市協会との友好交流事業の実施
コロナ禍のため、中止。

【他2】各種大会への協力及び支援事業

2021年度の事業なし。

【法人関係事業】

法人関係事業

- I さっぽろ夏まつり福祉協賛ビアガーデン（協力）
 キリンビール（株）様の協力のもと、夏まつり福祉協賛ビアガーデンのビール券を行政や企業、団体、各区支部、クラブ、会員等へ販売普及。
 2021年度はコロナ禍のため、未実施。

II 総会・理事会・委員会・会議等の開催

1. 社員総会開催

「第11回定時社員総会」

コロナ禍のため、2021年6月10日付で議決権行使書を代議員に郵送した。

期限：2021年6月26日（金）

主な議題：2020年度事業報告及び決算報告、2021年度事業計画及び予算、
 規則・規程一部改正、役員改選

代議員数：82名 議決権行使数：74名

2. 理事会開催

1) 定時理事会

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2021年4月17日	18：30～20：45	16名	2名
	4月18日	9：30～15：25	15名	2名
2	5月22日	中止		
3	6月27日	9：30～11：30	16名	2名
4	8月29日	9：30～11：30	15名	1名
5	10月17日	9：30～14：35	13名	2名
6	12月12日	9：30～15：30	16名	2名
7	2022年2月26日	18：30～20：40	16名	2名
	2月27日	9：30～16：00	16名	2名

2) 臨時理事会

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	6月27日	13：45～14：00	16名	2名

3) 書面

回	提案日	理事（同意）	監事（確認）
1	2021年5月7日	16名	2名

※理事会出欠票は別表P80～81に記載

3. 三役会議

期間：2021年4月～2022年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

※コロナ感染対策のためオンラインを1回実施

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2021年4月7日(水)	5名	5	8月11日(水)	4名
2	4月28日(水)	4名	6	10月6日(水)	4名
3	5月12日(水)	中止	7	12月1日(水)	4名
※4	6月2日(水)	5名	8	2022年2月9日(水)	3名

時間：19：00～21：00

出席：（1～4回目）渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長、宮内博子副理事長、高嶋正博常務理事、京野大樹事務局長

（5～7回目）渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長

内容：理事会で確認された事項の取り組みについて経過報告、次回理事会の議題、報告とする事項の確認、整理をおこなった。

4. 経営会議

期間：2021年4月～2022年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

※コロナ感染対策のためオンラインを4回実施

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2021年4月28日(水)	中止	7	10月27日(水)	7名
※2	5月26日(水)	8名	8	11月24日(水)	7名
※3	6月23日(水)	8名	9	2022年1月26日(水)	中止
4	7月28日(水)	7名	10	2月22日(火)	7名
※5	8月25日(水)	7名	11	2月28日(土)	7名
※6	9月22日(水)	7名	12	3月23日(水)	7名

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、金原浩之副理事長（～3回目）、宮内博子副理事長（～3回目）、中和彦副理事長（4回目～）高嶋正博副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、秋井利江聴覚障害者支援センター長、渋谷梯子コミュニケーション支援課長、樋口あやこさっぽろ聴覚障害者介護支援センター長

内容：各事業の事項及び人事について事項の確認等を行った。

5. 職員会議・研修

日時：12月18日（土）

会場：各事業所（オンライン方法で実施）

講演「なんのために・どのように働くか 京都法人実績報告から」

講師 近藤幸一氏（社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会 事業本部長）

6. 三団体懇談会

構成：札幌協・札幌連・札幌研

期間：2021年4月～2022年3月（月1回・第3火曜日開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

※コロナ感染対策のためオンラインを2回実施

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2021年4月20日	8名	7	11月16日	8名
2	5月18日	中止	8	12月21日	8名
3	6月16日	8名	9	2022年1月18日	6名
4	7月20日	6名	※10	2月15日	7名
※5	9月21日	7名	※11	3月15日	7名
6	10月19日	6名			

札幌協：金原副理事長（～3回目）・中和彦副理事長（4回目～）・京野大樹常務理事兼事務局長・福島太郎理事・若浜ひろ子理事

札幌連：宮本英行会長・鍛冶由佳子副会長・中元未来副会長・三上基子事務局長・藤波貞子広報部長・久保田昭人会計部長

札幌研：太田利実副運営委員長・渋谷梯子事務局次長

各団体の会員数、事業のお知らせ、活動状況報告、札幌市手話言語条例、研修センター後援会協力や取組みのお願いなど情報交換や日聴紙、札幌紙の購読者および手話研修センター後援会員の拡大の意見交換を深めている。

7. 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会

① 2021（令和3）年度定時総会（書面決議・書面報告）
同意書 提出（2021年5月6日）

② 2021（令和3）年度理事会（2回）
日時：第1回 議決権行使書 提出（2021年4月21日）
第2回 議決権行使書 提出（2021年7月8日）

出席者：理事長 渋谷雄幸（（一社）札幌市障がい者スポーツ協会理事）

8. 札幌市障がい者によるまちづくりサポーター制度会議

日時：①2021年 7月9日（金） 14：00～16：30

②2021年10月15日（金） 14：00～16：30

③2022年2月18日（金） 欠席

場所：札幌市役所

委員：構成人数 11名

出席：金原浩之理事

内容：全てオンラインにて会議を行った。但し、オンラインに支障がある委員は札幌市役所の会議室を利用して参加。

メインテーマについて話し合い、「活動テーマについて考えよう」に決定。第3回会議は別の会議と重なったため欠席。

9. 2021（令和2）年度札幌市障害者週間記念事業実行委員会

※コロナ禍のため未実施

10. 障がい者コミュニケーション促進委員会 削除

※コロナ禍のため未実施

11. その他

(1) 北海道札幌聾学校 学校評議員会

趣旨：校長の求めに応じて、学校の教育目標及び計画、教育活動の実施、学校と地域との連携の進め方その他、校長が行う学校運営に関し、一人一人がそれぞれ責任において、校長に対し意見を述べる。

日時：第1回 2021年6月24日（火） 9:30～11:00 書面開催

第2回 2022年2月9日（水） 9:30～11:00 書面開催

場所：北海道札幌聾学校

出席者：公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長 渋谷雄幸

北区北地区民生委員・児童委員協議会(総務部長) 渥美健治

北海道札幌聾学校PTA会長 及川和子

札幌聾学校同窓会長 杉本五郎

札幌医科大学医学部耳鼻科咽喉科長寿 高野賢一

学校職員：校長 須見千慶、教頭 飯出広行・青木淳、

事務長 相場昌子

Ⅲ 人事(採用・異動・退職)報告

【2021年4月1日～2022年3月31日】

①法人事務局
<small>きまのうだい</small> 京野大樹（2021年6月27日付任命 常務理事兼事務局長）
②コミュニケーション支援課
<small>たがみあきこ</small> 田上晶子（2021年4月1日付採用 勤医協札幌病院 非常勤嘱託職員）
③聴覚障害者支援センターほほえみ
<small>あらかやゆり</small> 荒谷友理（2021年6月17日付採用 非常勤嘱託職員・菓子工房）
<small>たかやま</small> 高山みゆき（2021年8月10日付異動 地域活動支援センター兼務）
<small>かどわきむつみ</small> 門脇睦（2021年8月10日付異動 グループホーム兼務）
<small>かんのかおり</small> 菅野香（2021年8月10日付異動 グループホーム）
<small>あらかやゆり</small> 荒谷友理（2021年9月10日付退職）
<small>さかい</small> 堺ちづる（2021年9月15日付採用 非常勤嘱託職員・グループホーム）
<small>こしだあつこ</small> 越田敦子（2021年12月17日付採用 非常勤嘱託職員・菓子工房）
<small>おきたまきこ</small> 沖田真紀子（2022年1月11日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員）
高山みゆき（2022年1月31日付退職）
堺ちづる（2022年3月31日付退職）
④さっぽろ聴覚障害者介護支援センター
<small>さくだかずこ</small> 作田和子（2022年3月31日付退職）

※職員等体制について

(104名(常勤・アルバイト・非常勤契約含む) 2022年4月1日現在)

- ① 法人事務局(手話普及事業・情報支援事業・電話リレーサービス提供事業)
(20名)
事務局長1名、職員9名、アルバイト9名、計19名(正職員2名、常勤嘱託7名、非常勤嘱託1名、アルバイト9名)
聴能言語訓練指導員(非常勤契約) 1名
- ② コミュニケーション支援課(手話通訳派遣事業係(医療手話通訳者派遣事業含む)、養成事業係) (27名)
課長1名、係長2名、職員13名、アルバイト11名 計27名(正職員4名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託10名、アルバイト11名)
- ③ 聴覚障害者支援センターほほえみ (31名)
 - ㊦聴覚障害者地域活動支援センター(ほほえみ西)
所長1名、職員2名 計3名(常勤嘱託2名、非常勤嘱託1名)
 - ㊧ほほえみ作業所 就労継続支援B型事業(ほほえみ作業所)
所長1名、職員6名、アルバイト1名 計8名(正職員1名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託4名、アルバイト1名)
 - ㊨ほほえみカフェ(就労継続支援B型事業(ほほえみカフェ、菓子工房ほほえみ))
センター長1名、店長1名、職員6名、アルバイト4名 計12名(正職員1名、常勤嘱託3名、非常勤嘱託4名、アルバイト4名)
 - ㊩共同生活援助事業(グループホームよつば・さくら)
職員4名 アルバイト4名 計8名(常勤嘱託2名、非常勤嘱託2名、アルバイト4名)
- ④ さっぽろ聴覚障害者介護支援センター(26名)
 - ㊦小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲
所長1名、職員9名 計10名(正職員5名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託3名)
 - ㊧サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷
センター長・所長(兼務) 1名、アルバイト9名 計10名(正職員1名、アルバイト9名)
 - ㊨ほほえみの郷・ほほえみ手稲
施設長1名 計1名(常勤役員1名)
 - ㊩デイサービスほほえみ白石
所長1名 職員4名 計5名(正職員2名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託2名)

別表【理事会出欠表】

(2019～2020 年度役員)

役職	氏名	1		2	3	書面
		4/ 17	4/ 18	5/ 22	6/ 27	5/ 7
理事長	渋谷 雄幸	出	出	—	出	同意
副理事長	金原 浩之	出	出	—	出	同意
副理事長	宮内 博子	出	出	—	出	同意
常務理事	高嶋 正博	出	出	—	出	同意
理事	中 和彦	出	出	—	出	同意
理事	福島 太郎	出	出	—	出	同意
理事	若浜ひろ子	出	出	—	出	同意
理事	佐藤 正昭	出	出	—	出	同意
理事	野口 和伸	出	出	—	出	同意
理事	越智 誠	出	出	—	出	同意
理事	佐藤 英治	出	出	—	出	同意
理事	畠山 和子	出	出	—	出	同意
理事	京野 大樹	出	出	—	出	同意
理事	佐藤 尚行	出	欠	—	出	同意
理事	福岡 静枝	出	出	—	出	同意
理事	森 恵子	出	出	—	出	同意
監事	東出 昇	出	出	—	出	確認
監事	新田 由香	出	出	—	出	確認

出：出席・欠：欠席・※の印は遅参・早退
5/22は中止

別表【理事会出欠表】

(2021～2022 年度役員)

役職	氏名	臨時	4	5	6	7	
		6/ 27	8/ 29	10/ 17	12/ 12	2/ 26	2/ 27
理事長	渋谷 雄幸	出	出	出	出	出	出
副理事長	高嶋 正博	出	出	出	出	出	出
副理事長	中 和彦	出	出	出	出	出	出
常務理事	京野 大樹	出	出	出	出	出	出
理事	福島 太郎	出	出	欠	出	出	出
理事	若浜ひろ子	出	出	出	※出	出	出
理事	金原 浩之	出	出	欠	出	出	出
理事	野口 和伸	出	出	出	出	出	出
理事	宮内 博子	出	出	出	出	出	出
理事	越智 誠	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 正昭	出	出	出	出	出	出
理事	福岡 静枝	出	出	出	出	出	出
理事	森 恵子	出	出	出	※出	出	出
理事	佐藤 尚行	出	欠	欠	出	出	出
理事	新田 由香	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 英治	出	出	出	出	出	出
監事	泉 隆行	出	出	出	出	出	出
監事	東出 昇	出	出	出	出	出	出

出：出席・欠：欠席・※の印は遅参・早退